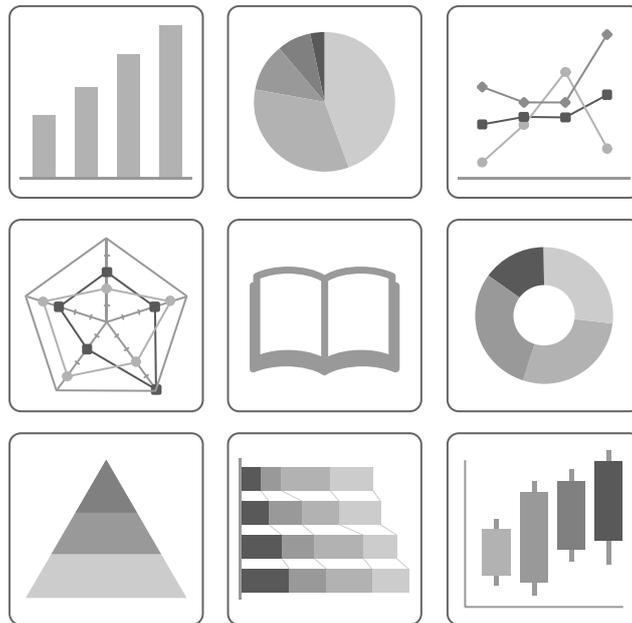


令和3年度
第2回区民アンケート調査
調査結果報告書



令和4年2月

東住吉区

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	健康づくりについて	8
3	交通安全・防犯について	17
4	区政情報・区政運営について	24
5	シェアサイクルについて	32

I 調査の概要

1 調査の目的

東住吉区役所では、「東住吉区将来ビジョン（2021～2025）」で定めた、めざす将来像『子どもが輝き、みんながしあわせなまち』の実現に向け、広く区民の方の意見を聞き、今後の施策の進め方の参考資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

東住吉区在住の18歳以上の方1,500人を無作為抽出

3 調査期間

令和4年1月20日から令和4年2月3日

4 調査方法

調査票の送付による配布と返信封筒による回収及びWEBによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
区民	1,500通	556通	37.1%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

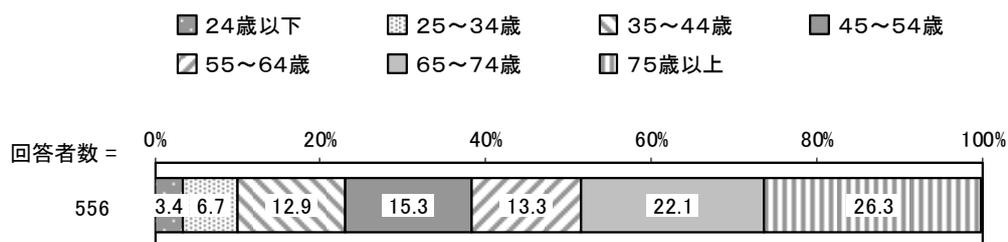
II 調査結果

1 回答者属性

1 あなたのご年齢を教えてください。

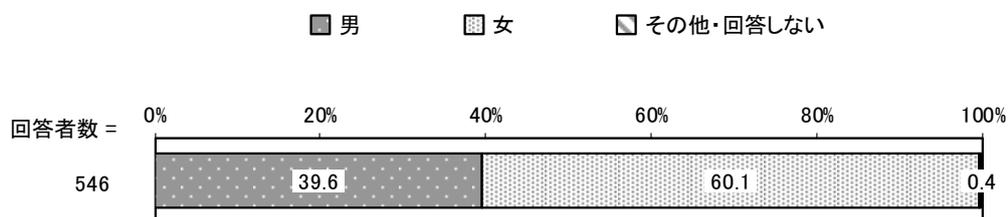
「75歳以上」の割合が26.3%と最も高く、次いで「65～74歳」の割合が22.1%、「45～54歳」の割合が15.3%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	556	100%	216	100%	328	100%
24歳以下	19	3.4%	2	0.9%	17	5.2%
25～34歳	37	6.7%	20	9.3%	16	4.9%
35～44歳	72	12.9%	21	9.7%	50	15.2%
45～54歳	85	15.3%	32	14.8%	49	14.9%
55～64歳	74	13.3%	34	15.7%	39	11.9%
65～74歳	123	22.1%	52	24.1%	67	20.4%
75歳以上	146	26.3%	55	25.5%	90	27.4%



2 あなたの性別を教えてください。

「女」の割合が60.1%と最も高く、次いで「男」の割合が39.6%となっています。

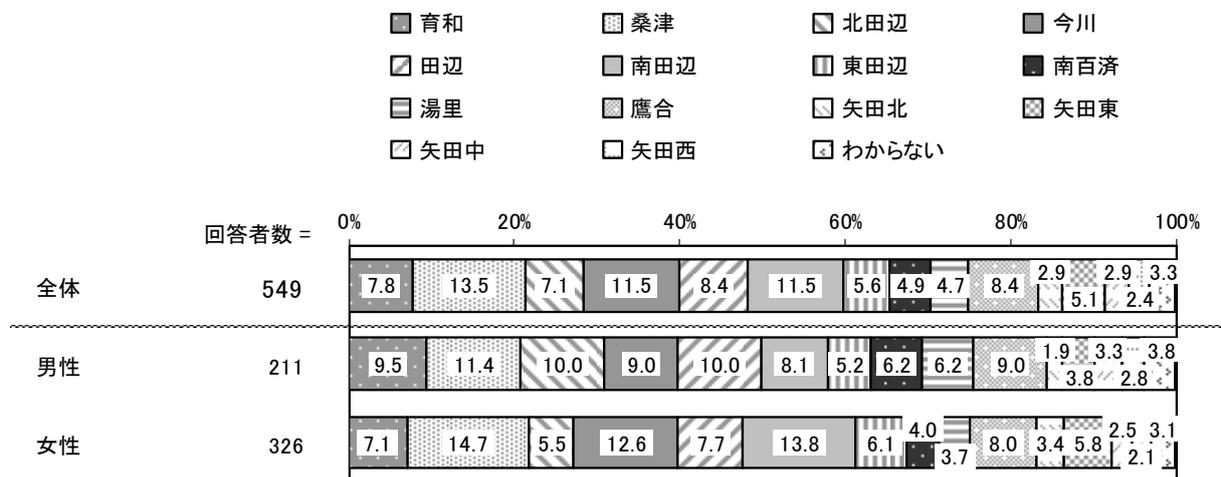


3 あなたの住んでいる地域（小学校区）を教えてください。

「桑津」の割合が13.5%と最も高く、次いで「今川」、「南田辺」の割合が11.5%となっています。

性別で見ると、女性に比べ、男性で「育和」「北田辺」「南百済」「湯里」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「桑津」「今川」「南田辺」「矢田東」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	549	100%	211	100%	326	100%
育和	43	7.8%	20	9.5%	23	7.1%
桑津	74	13.5%	24	11.4%	48	14.7%
北田辺	39	7.1%	21	10.0%	18	5.5%
今川	63	11.5%	19	9.0%	41	12.6%
田辺	46	8.4%	21	10.0%	25	7.7%
南田辺	63	11.5%	17	8.1%	45	13.8%
東田辺	31	5.6%	11	5.2%	20	6.1%
南百済	27	4.9%	13	6.2%	13	4.0%
湯里	26	4.7%	13	6.2%	12	3.7%
鷹合	46	8.4%	19	9.0%	26	8.0%
矢田北	16	2.9%	4	1.9%	11	3.4%
矢田東	28	5.1%	8	3.8%	19	5.8%
矢田中	16	2.9%	7	3.3%	8	2.5%
矢田西	13	2.4%	6	2.8%	7	2.1%
わからない	18	3.3%	8	3.8%	10	3.1%

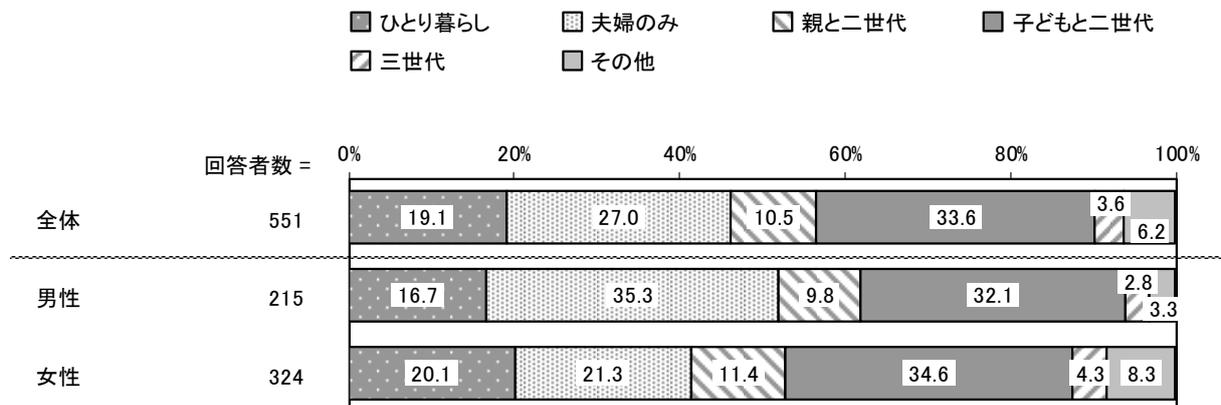


4 あなたの世帯の構成を教えてください。

「子どもと二世帯」の割合が33.6%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が27.0%、「ひとり暮らし」の割合が19.1%となっています。

性別で見ると、女性に比べ、男性で「ひとり暮らし」「親と二世帯」「その他」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「夫婦のみ」の割合が高くなっています。

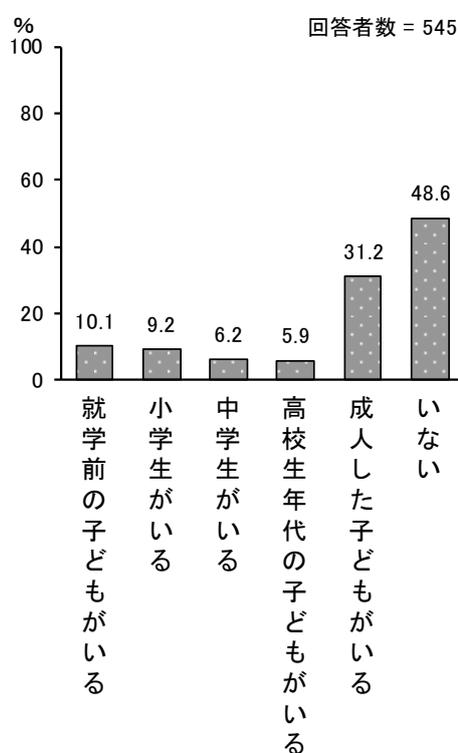
項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	551	100%	215	100%	324	100%
ひとり暮らし	105	19.1%	36	16.7%	65	20.1%
夫婦のみ	149	27%	76	35.3%	69	21.3%
親と二世帯	58	10.5%	21	9.8%	37	11.4%
子どもと二世帯	185	33.6%	69	32.1%	112	34.6%
三世帯	20	3.6%	6	2.8%	14	4.3%
その他	34	6.2%	7	3.3%	27	8.3%



5 あなたの世帯にはお子さまがいますか。該当する番号をすべて選んでください。

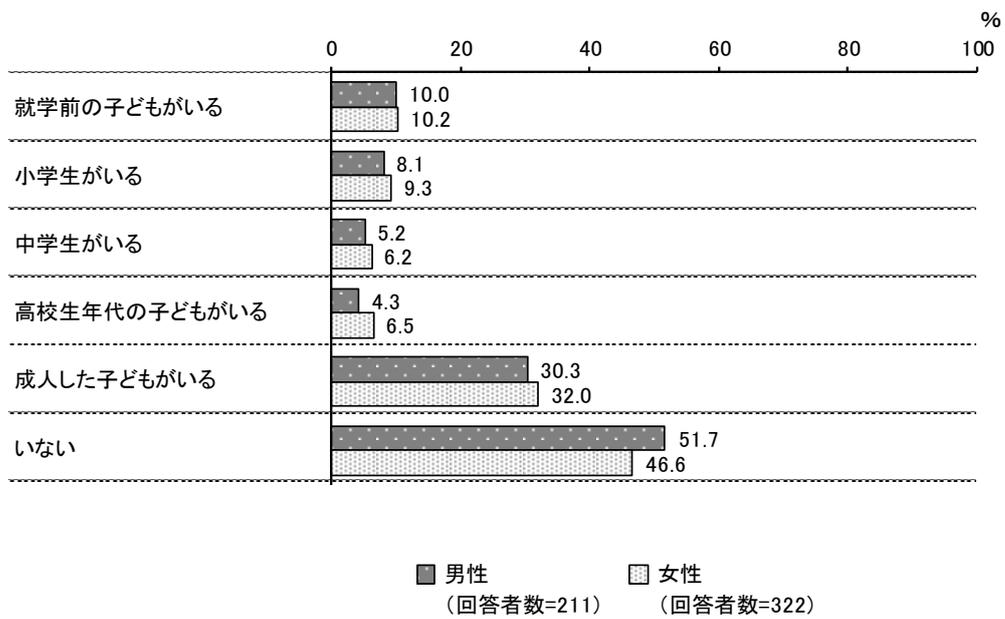
「いない」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「成人した子どもがいる」の割合が 31.2%、「就学前の子どもがいる」の割合が 10.1%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	545	100%	211	100%	322	100%
就学前の子どもがいる	55	10.1%	21	10.0%	33	10.2%
小学生がいる	50	9.2%	17	8.1%	30	9.3%
中学生がいる	34	6.2%	11	5.2%	20	6.2%
高校生年代の子どもがいる	32	5.9%	9	4.3%	21	6.5%
成人した子どもがいる	170	31.2%	64	30.3%	103	32.0%
いない	265	48.6%	109	51.7%	150	46.6%



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いない」の割合が高くなっています。



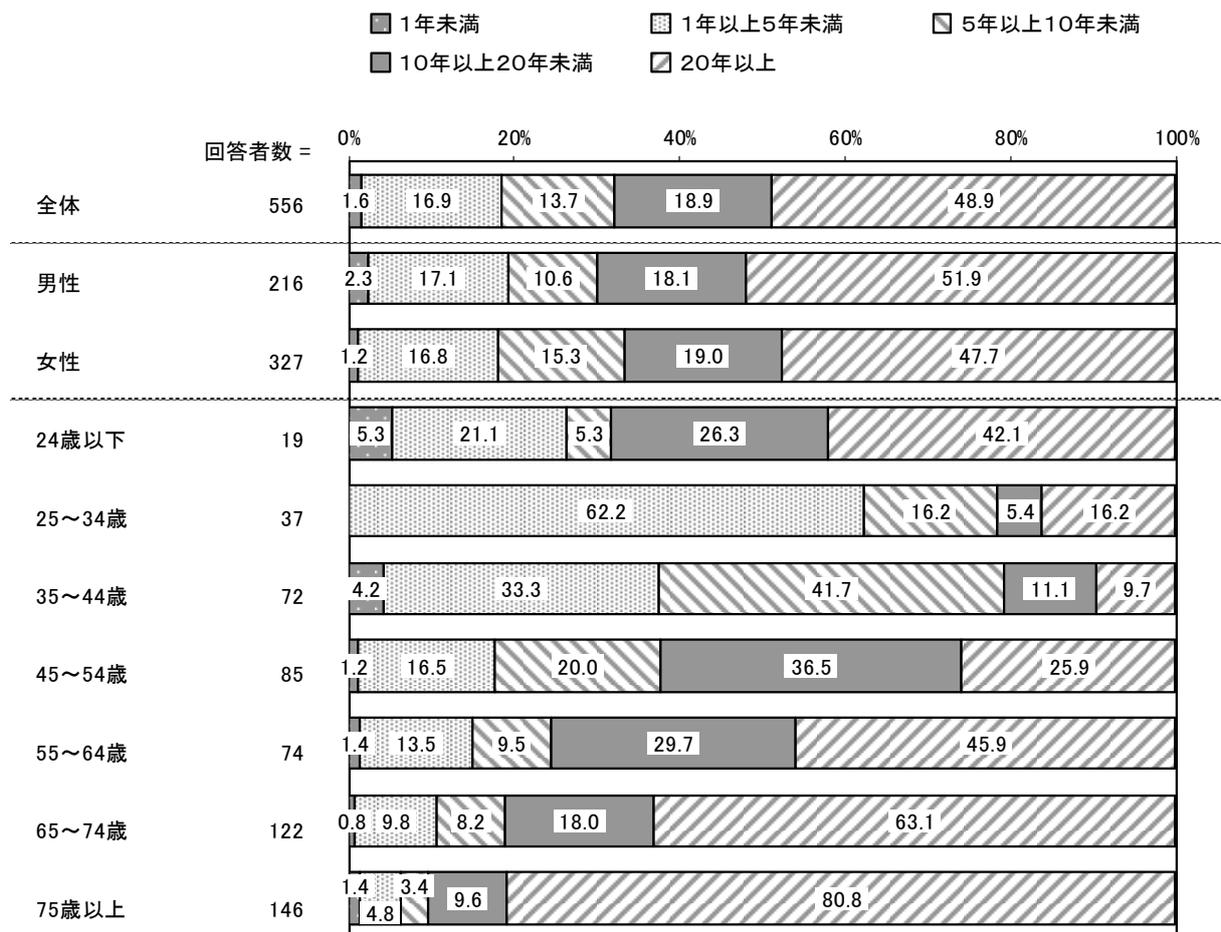
6 現在の住所にお住まいになってからの年数を教えてください。

「20年以上」の割合が48.9%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が18.9%、「1年以上5年未満」の割合が16.9%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

年齢別でみると、他に比べ、25～34歳で「1年未満」「1年以上5年未満」の割合が、75歳以上で「20年以上」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	556	100%	216	100%	327	100%
1年未満	9	1.6%	5	2.3%	4	1.2%
1年以上5年未満	94	16.9%	37	17.1%	55	16.8%
5年以上10年未満	76	13.7%	23	10.6%	50	15.3%
10年以上20年未満	105	18.9%	39	18.1%	62	19.0%
20年以上	272	48.9%	112	51.9%	156	47.7%



2 健康づくりについて

健康で暮らすには、定期的な健康診断等を受診し、日ごろから健康を意識して食生活の改善や適度な運動等、健康づくりに取り組むことが大切です。そこで、次の問いにお答えください。

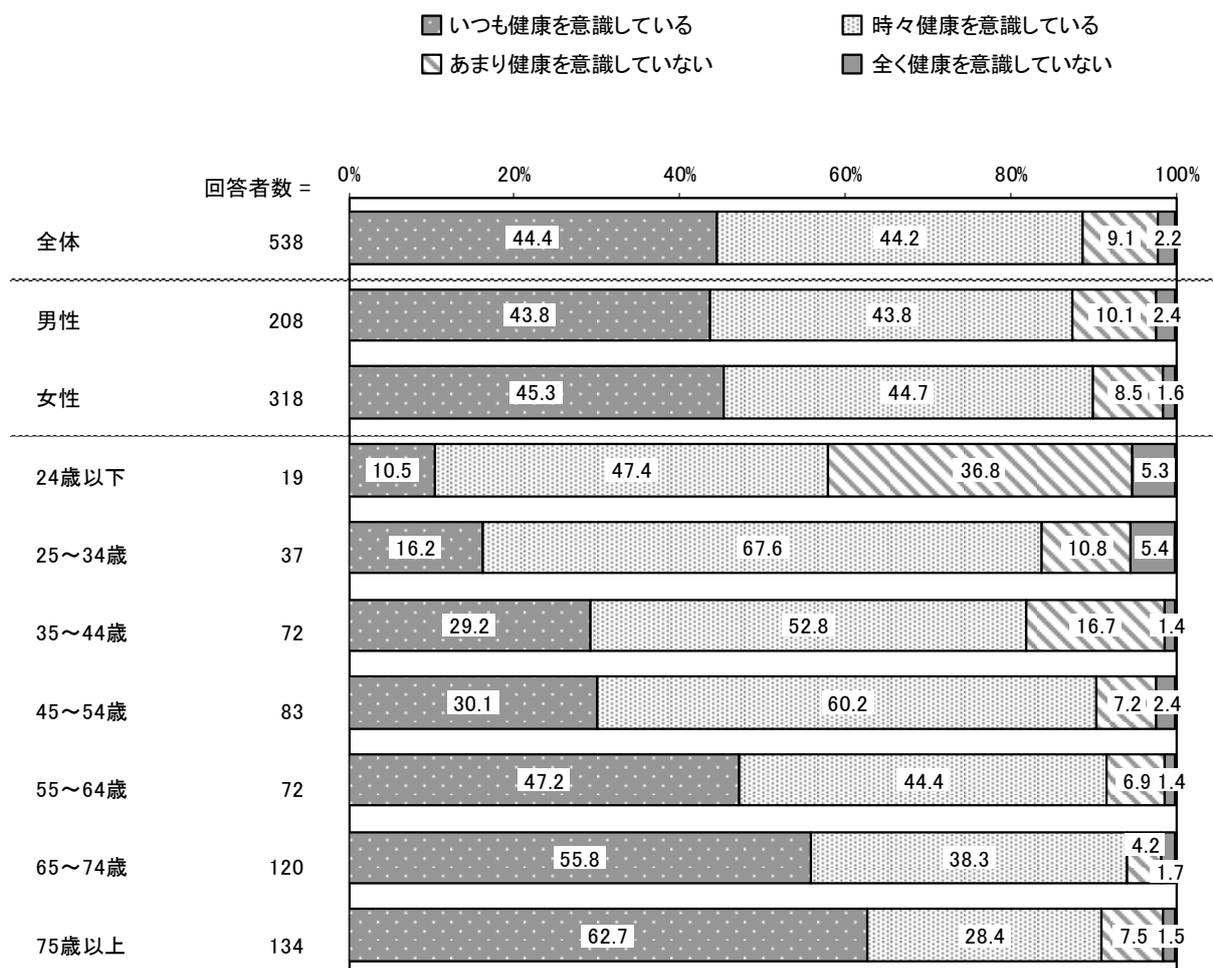
7 あなたは、生活習慣病の予防や改善など日ごろから健康を意識して生活していますか。(1つだけ)

「いつも健康を意識している」と「時々健康を意識している」を合わせた“意識している”の割合が88.6%、「あまり健康を意識していない」と「全く健康を意識していない」を合わせた“意識していない”の割合が11.3%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

年齢別でみると、他に比べ、24歳以下で“意識している”の割合が低くなっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	538	100%	208	100%	318	100%
いつも健康を意識している	239	44.4%	91	43.8%	144	45.3%
時々健康を意識している	238	44.2%	91	43.8%	142	44.7%
あまり健康を意識していない	49	9.1%	21	10.1%	27	8.5%
全く健康を意識していない	12	2.2%	5	2.4%	5	1.6%

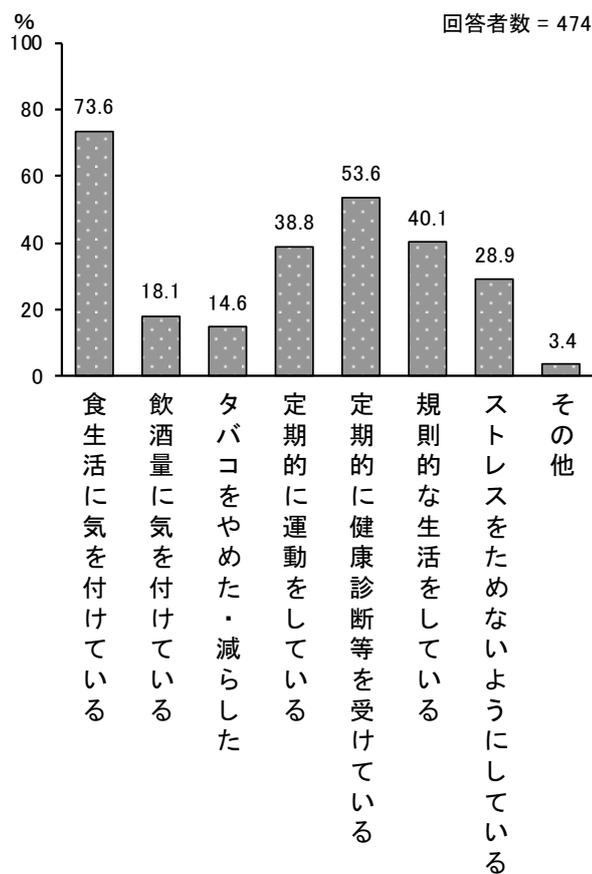


問7で「1 いつも健康を意識している」、「2 時々健康を意識している」を選ばれた方にお聞きします。

8 あなたが、健康のために心がけていることは何ですか。(〇はいくつでも)

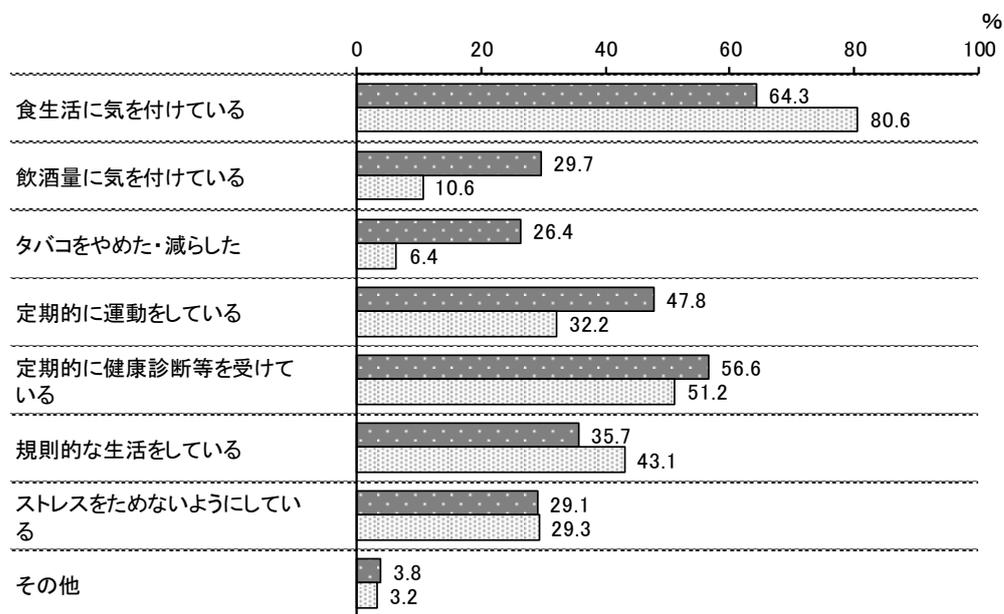
「食生活に気を付けている」の割合が73.6%と最も高く、次いで「定期的に健康診断等を受けている」の割合が53.6%、「規則的な生活をしている」の割合が40.1%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	474	100%	182	100%	283	100%
食生活に気を付けている	349	73.6%	117	64.3%	228	80.6%
飲酒量に気を付けている	86	18.1%	54	29.7%	30	10.6%
タバコをやめた・減らした	69	14.6%	48	26.4%	18	6.4%
定期的に運動をしている	184	38.8%	87	47.8%	91	32.2%
定期的に健康診断等を受けている	254	53.6%	103	56.6%	145	51.2%
規則的な生活をしている	190	40.1%	65	35.7%	122	43.1%
ストレスをためないようにしている	137	28.9%	53	29.1%	83	29.3%



【性別】

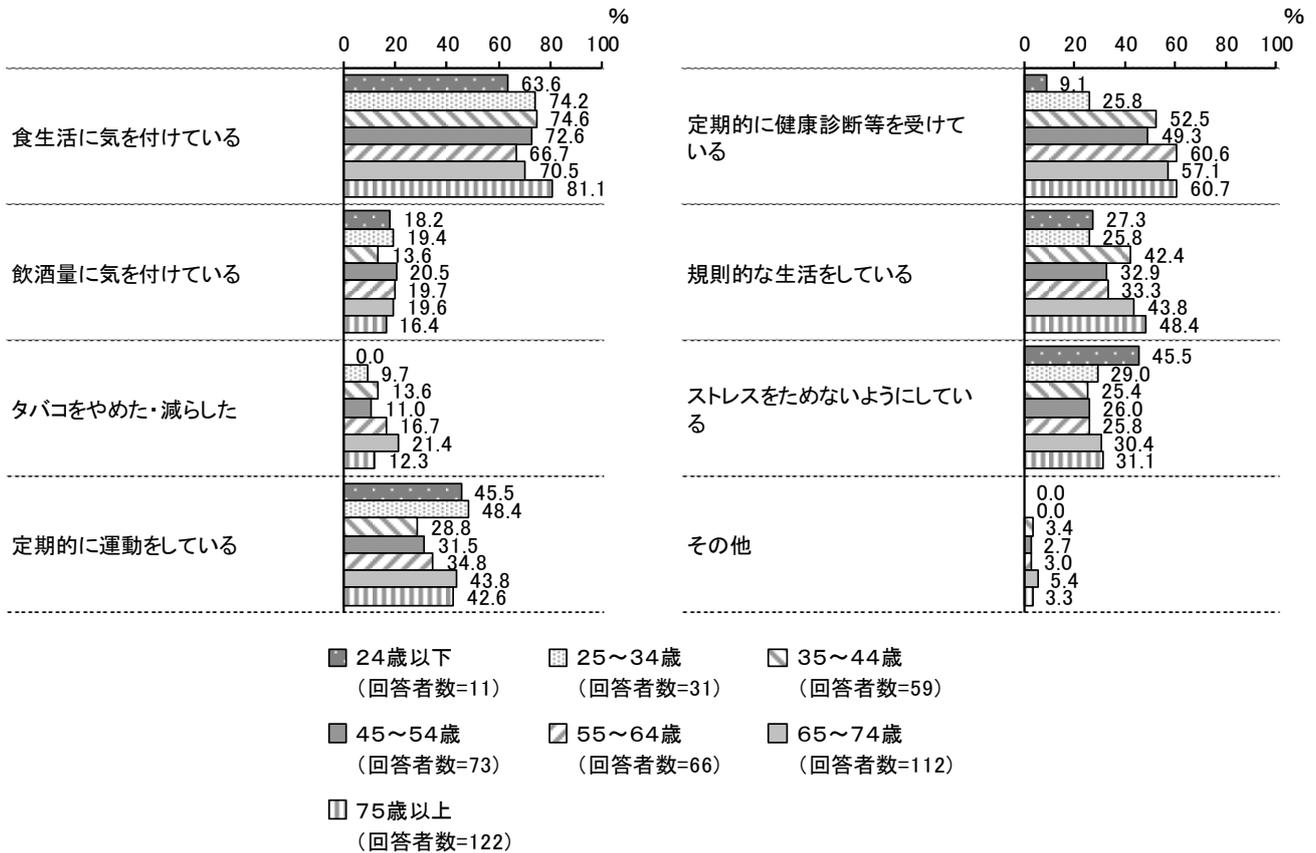
性別でみると、男性に比べ、女性で「食生活に気を付けている」「規則的な生活をしている」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「飲酒量に気を付けている」「タバコをやめた・減らした」「定期的に運動をしている」「定期的に健康診断等を受けている」の割合が高くなっています。



■ 男性 (回答者数=182) □ 女性 (回答者数=283)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、75歳以上で「食生活に気を付けている」「規則的な生活をしている」の割合が、45～54歳で「飲酒量に気を付けている」の割合が高くなっています。また、65～74歳で「タバコをやめた・減らした」の割合が、25～34歳で「定期的に運動をしている」の割合が、55～64歳で「定期的に健康診断等を受けている」の割合が、24歳以下で「ストレスをためないようにしている」の割合が高くなっています。



【問8の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
<ul style="list-style-type: none"> ・何もできていない。 ・ボランティアを長年している。 ・サプリを飲んでいる。 ・精神的修養をしている

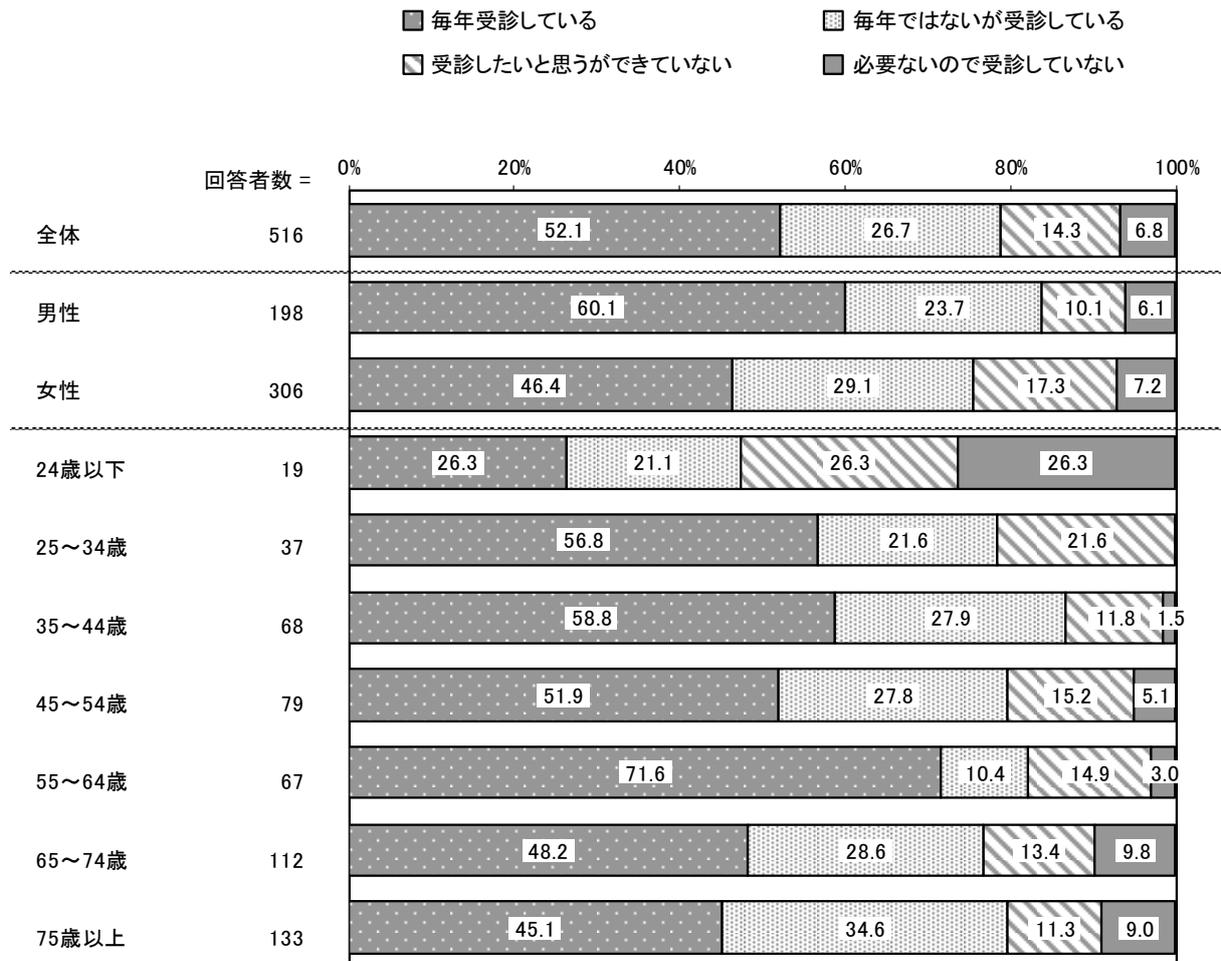
9 あなたは、健康診断やがん検診などを受診していますか。(1つだけ)

「毎年受診している」の割合が52.1%と最も高く、次いで「毎年ではないが受診している」の割合が26.7%、「受診したいと思うができていない」の割合が14.3%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「毎年受診している」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「毎年ではないが受診している」「受診したいと思うができていない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、55～64歳で「毎年受診している」の割合が、75歳以上で「毎年ではないが受診している」の割合が高くなっています。また、24歳以下で「受診したいと思うができていない」「必要ないので受診していない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	516	100%	198	100%	306	100%
毎年受診している	269	52.1%	119	60.1%	142	46.4%
毎年ではないが受診している	138	26.7%	47	23.7%	89	29.1%
受診したいと思うができていない	74	14.3%	20	10.1%	53	17.3%
必要ないので受診していない	35	6.8%	12	6.1%	22	7.2%

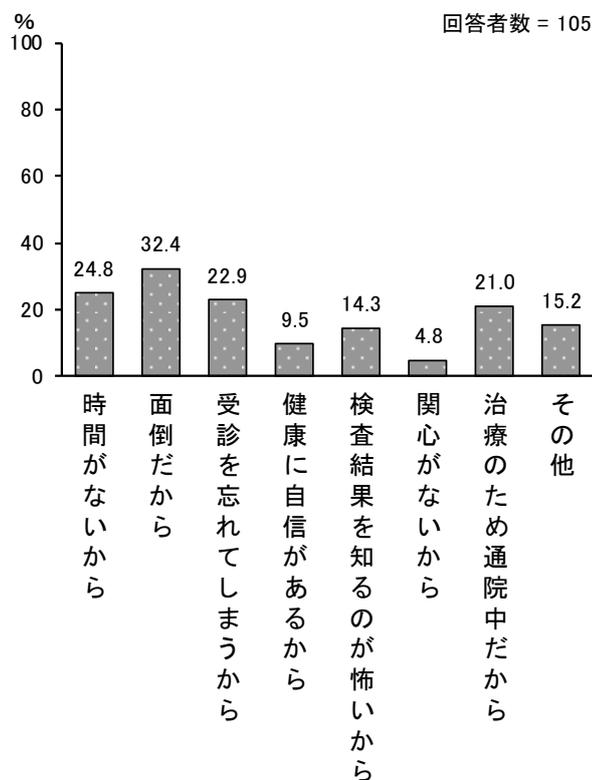


問9で「3 受診したいと思うができていない」「4 必要ないので受診していない」を選ばれた方にお聞きします。

10 あなたが、問9の選択肢を選ばれた理由を教えてください。(〇はいくつでも)

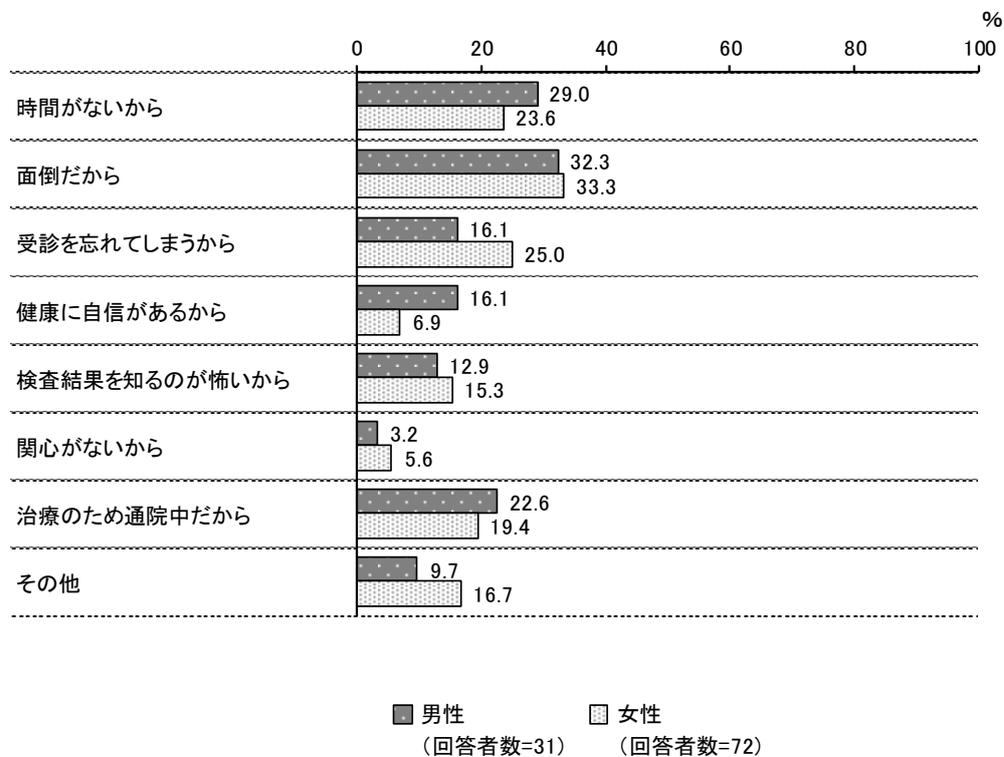
「面倒だから」の割合が32.4%と最も高く、次いで「時間がないから」の割合が24.8%、「受診を忘れてしまうから」の割合が22.9%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	105	100%	31	100%	72	100%
時間がないから	26	24.8%	9	29.0%	17	23.6%
面倒だから	34	32.4%	10	32.3%	24	33.3%
受診を忘れてしまうから	24	22.9%	5	16.1%	18	25.0%
健康に自信があるから	10	9.5%	5	16.1%	5	6.9%
検査結果を知るのが怖いから	15	14.3%	4	12.9%	11	15.3%
関心がないから	5	4.8%	1	3.2%	4	5.6%
治療のため通院中だから	22	21.0%	7	22.6%	14	19.4%
その他	16	15.2%	3	9.7%	12	16.7%



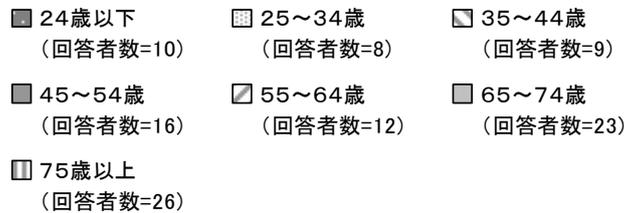
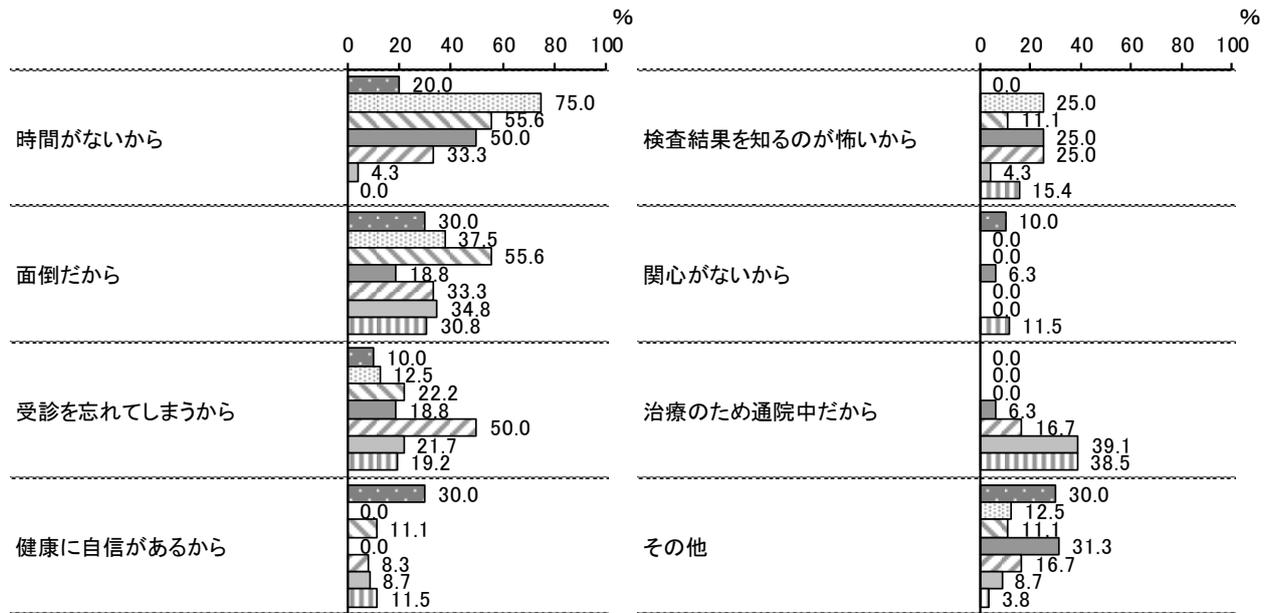
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「時間がないから」「健康に自信があるから」「治療のため通院中だから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「受診を忘れてしまうから」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、25～34歳で「時間がないから」「検査結果を知るのが怖いから」の割合が、35～44歳で「面倒だから」の割合が高くなっています。また、55～64歳で「受診を忘れてしまうから」「検査結果を知るのが怖いから」の割合が、24歳以下で「健康に自信があるから」の割合が、45～54歳で「検査結果を知るのが怖いから」の割合が、75歳以上で「関心がないから」「治療のため通院中だから」の割合が、65～74歳で「治療のため通院中だから」の割合が高くなっています。



【問10の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
<ul style="list-style-type: none"> ・費用がかかるから。 ・機会が少ない。

11 あなたは、毎日を健やかに暮らせていると思いますか。(1つだけ)

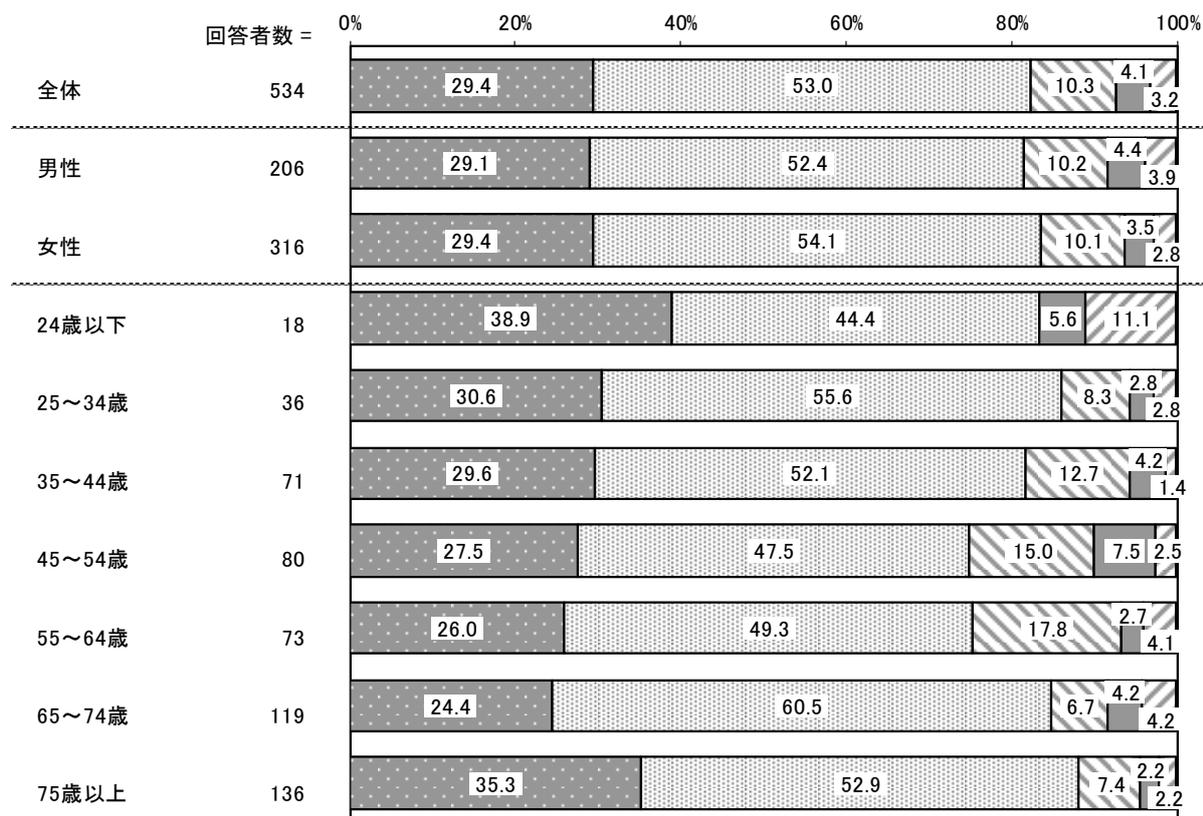
「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた“思う”の割合が82.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が14.4%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、75歳以上で“思う”の割合が、45～54歳で“思わない”の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	534	100%	206	100%	316	100%
思う	157	29.4%	60	29.1%	93	29.4%
どちらかといえば思う	283	53.0%	108	52.4%	171	54.1%
あまり思わない	55	10.3%	21	10.2%	32	10.1%
思わない	22	4.1%	9	4.4%	11	3.5%
わからない	17	3.2%	8	3.9%	9	2.8%

■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない



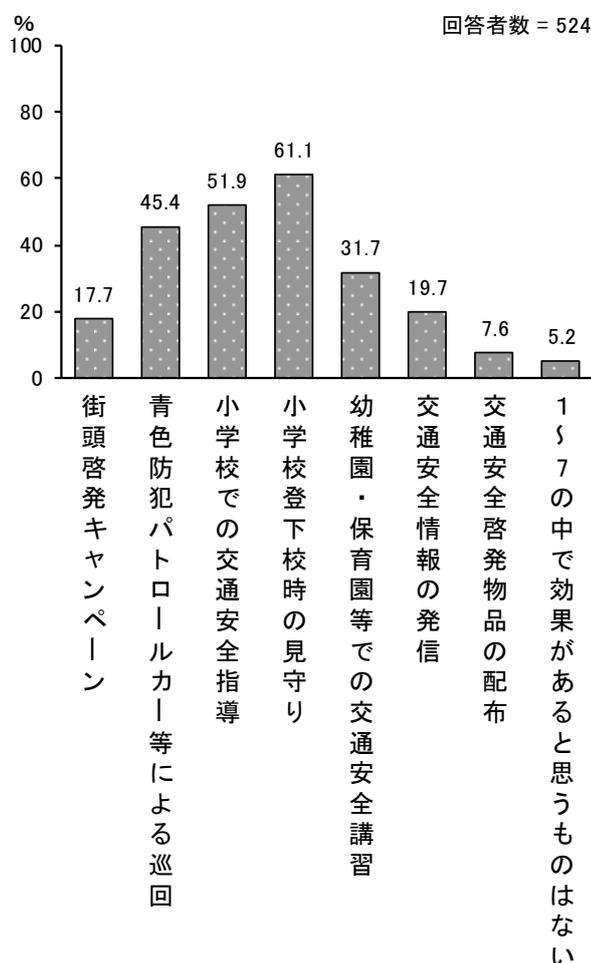
3 交通安全・防犯について

誰もが安心して暮らせるまちづくりの現実には、交通安全や防犯力向上に向けた取組を進めることが重要であると考えています。そこで、以下の問いにお答えください。

- 12 区役所では、地域の方々や警察、関係機関と連携しながら自転車での事故をはじめ、交通事故の減少に向けた取り組みを行っています。あなたが、これらの取り組みの中で、交通事故を減らすために効果があると思うものはありますか。
(〇は3つまで)

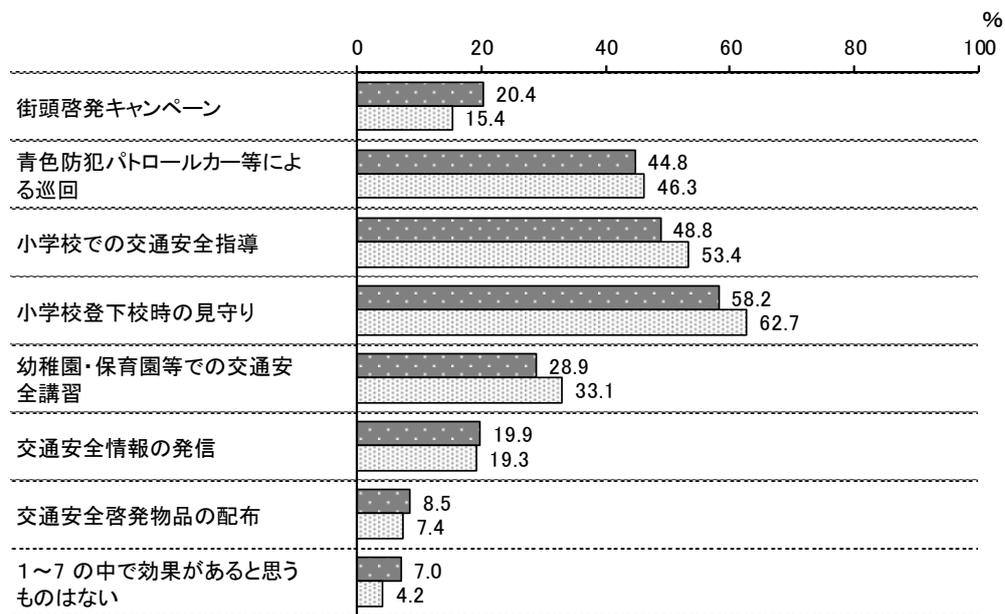
「小学校登下校時の見守り」の割合が61.1%と最も高く、次いで「小学校での交通安全指導」の割合が51.9%、「青色防犯パトロールカー等による巡回」の割合が45.4%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	524	100%	201	100%	311	100%
街頭啓発キャンペーン	93	17.7%	41	20.4%	48	15.4%
青色防犯パトロールカー等による巡回	238	45.4%	90	44.8%	144	46.3%
小学校での交通安全指導	272	51.9%	98	48.8%	166	53.4%
小学校登下校時の見守り	320	61.1%	117	58.2%	195	62.7%
幼稚園・保育園等での交通安全講習	166	31.7%	58	28.9%	103	33.1%
交通安全情報の発信	103	19.7%	40	19.9%	60	19.3%
交通安全啓発物品の配布	40	7.6%	17	8.5%	23	7.4%
1～7の中で効果があると思うものはない	27	5.2%	14	7.0%	13	4.2%



【性別】

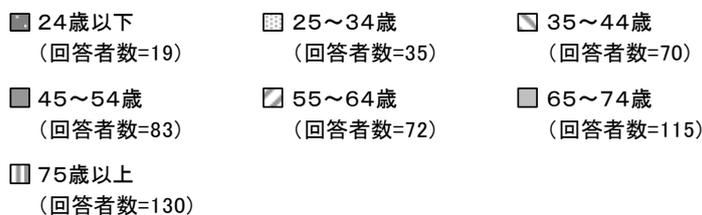
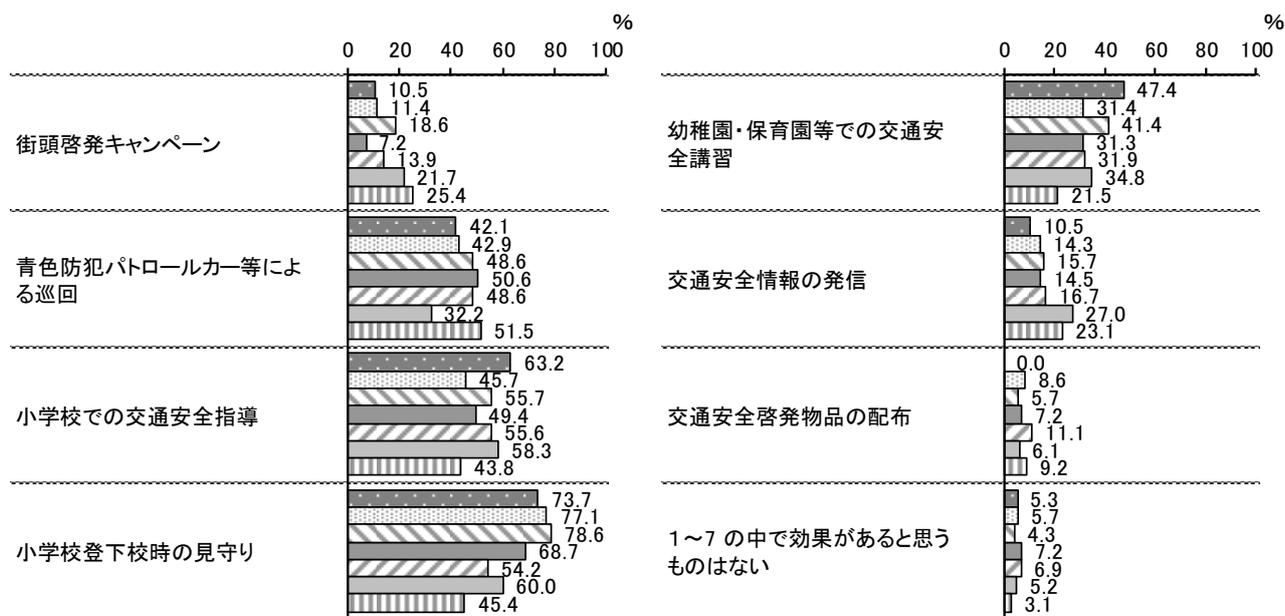
性別でみると、女性に比べ、男性で「街頭啓発キャンペーン」の割合が高くなっています。



■ 男性 (回答者数=201) □ 女性 (回答者数=311)

【年齢別】

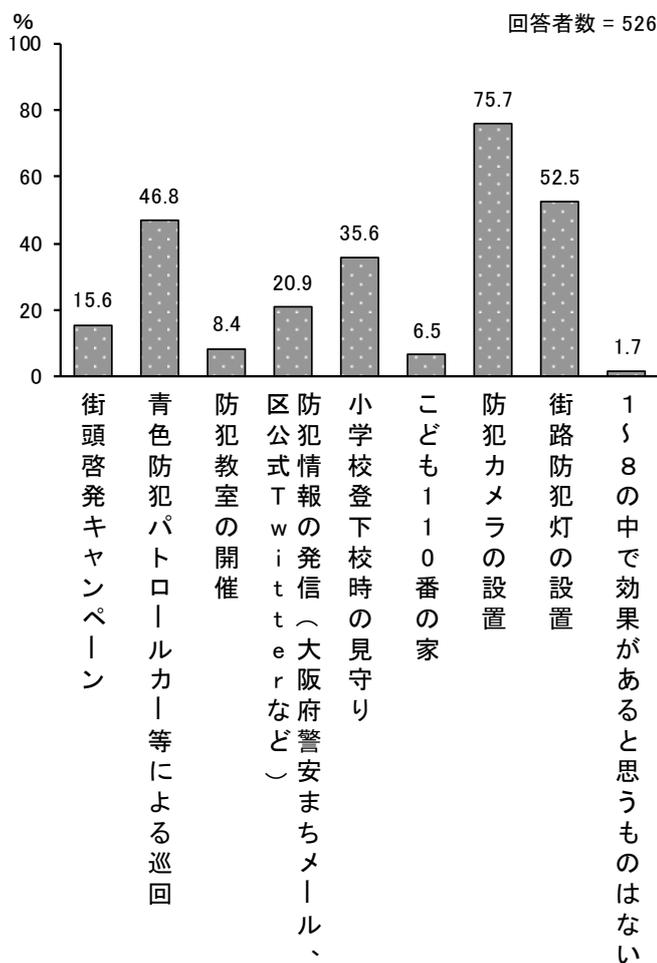
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「街頭啓発キャンペーン」「青色防犯パトロールカー等による巡回」「交通安全情報の発信」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が低くなるほど「小学校登下校時の見守り」「幼稚園・保育園等での交通安全講習」の割合が高くなる傾向がみられます。他に比べ、35～44歳で「東住吉図書館が遠い・交通の便が悪い」の割合が高くなっています。また、他に比べ、24歳以下で「小学校での交通安全指導」の割合が、55～64歳で「交通安全啓発物品の配布」の割合が高くなっています。



13 区役所では、より一層の街頭犯罪の減少や特殊詐欺の被害防止に向けて、地域の方々や警察、関係機関と連携して次の取り組みを行っています。
 あなたが、これらの取り組みの中で、犯罪が起こりにくいまちにするために効果があると思うものはありますか。(〇は3つまで)

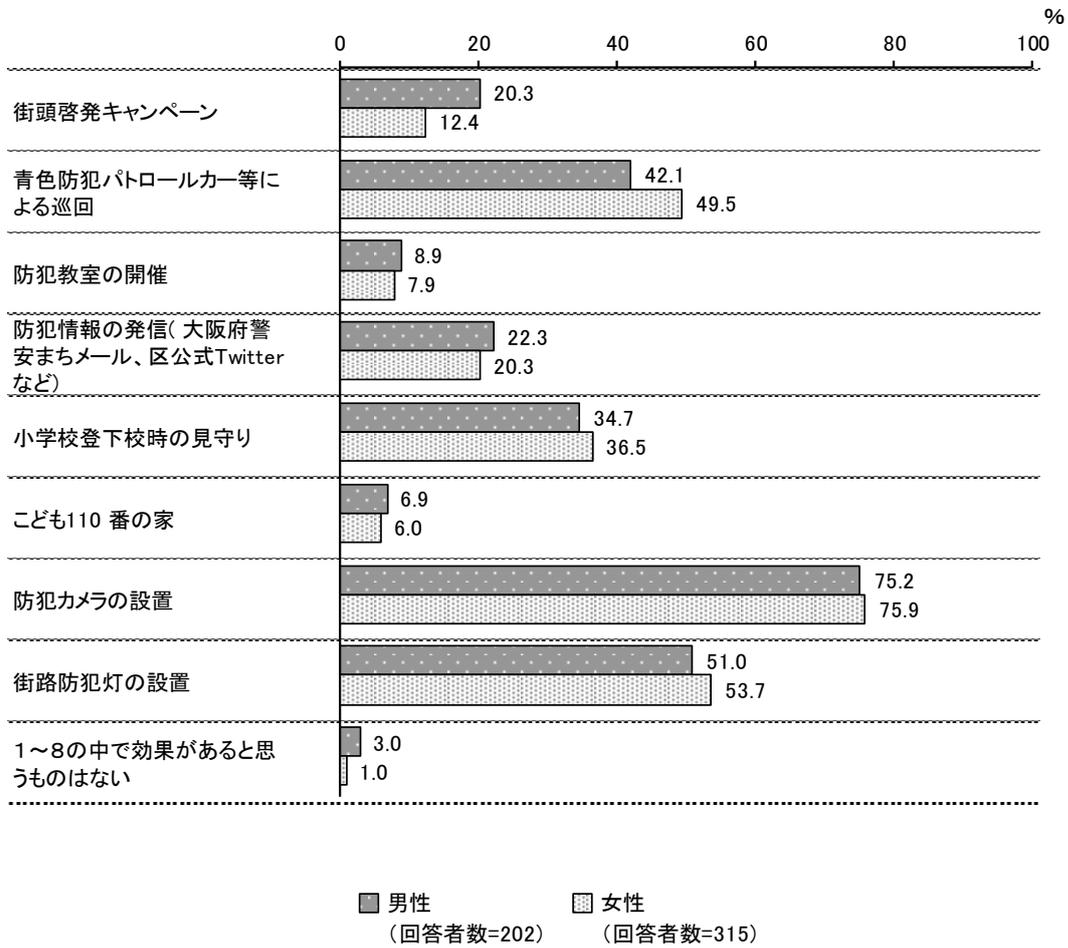
「防犯カメラの設置」の割合が75.7%と最も高く、次いで「街路防犯灯の設置」の割合が52.5%、「青色防犯パトロールカー等による巡回」の割合が46.8%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	526	100%	202	100%	315	100%
街頭啓発キャンペーン	82	15.6%	41	20.3%	39	12.4%
青色防犯パトロールカー等による巡回	246	46.8%	85	42.1%	156	49.5%
防犯教室の開催	44	8.4%	18	8.9%	25	7.9%
防犯情報の発信(大阪府警安まちメール、区公式Twitterなど)	110	20.9%	45	22.3%	64	20.3%
小学校登下校時の見守り	187	35.6%	70	34.7%	115	36.5%
こども110番の家	34	6.5%	14	6.9%	19	6.0%
防犯カメラの設置	398	75.7%	152	75.2%	239	75.9%
街路防犯灯の設置	276	52.5%	103	51.0%	169	53.7%
1～8の中で効果があると思うものはない	9	1.7%	6	3.0%	3	1.0%



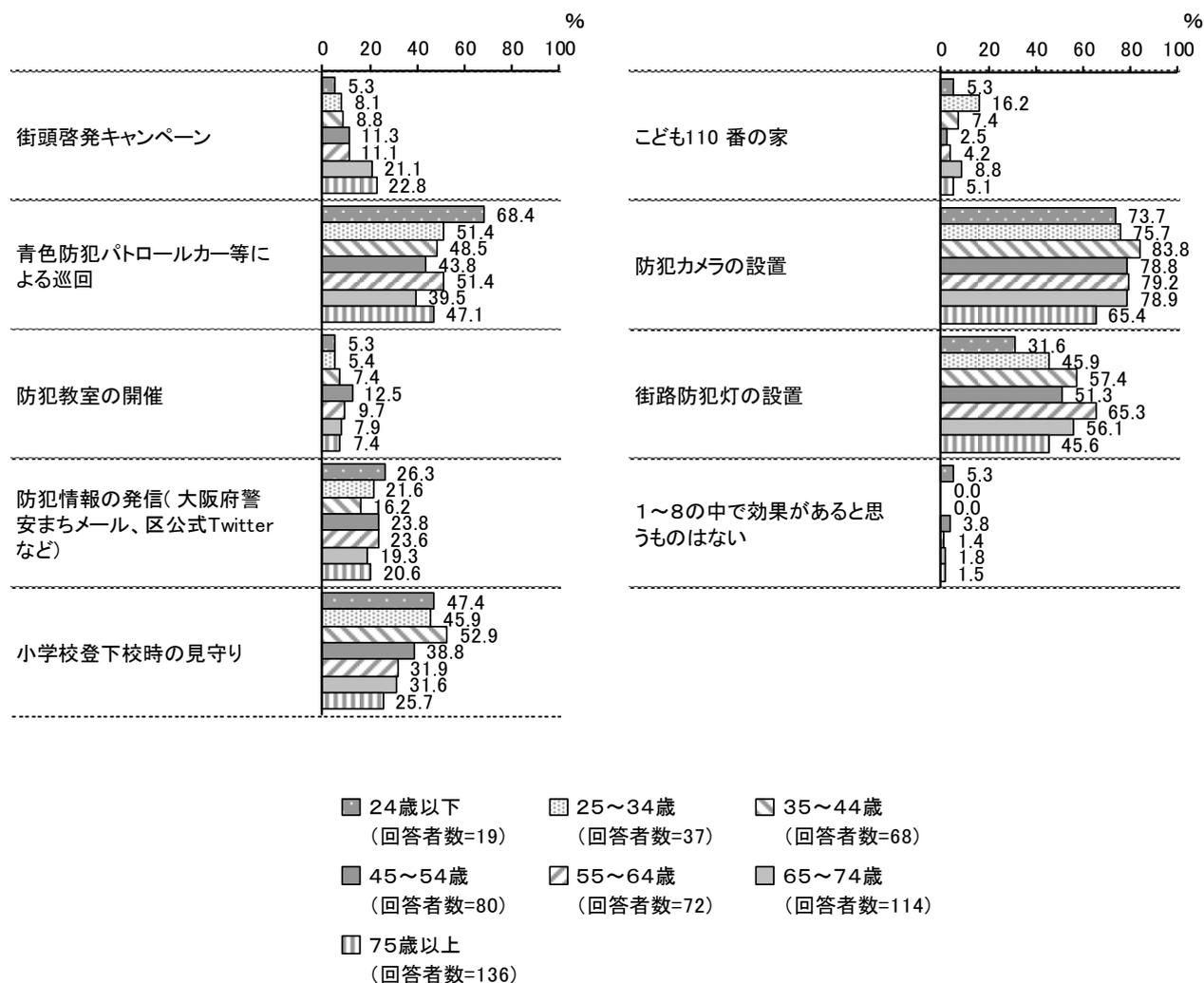
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「街頭啓発キャンペーン」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「青色防犯パトロールカー等による巡回」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「街頭啓発キャンペーン」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が低くなるほど「青色防犯パトロールカー等による巡回」「小学校登下校時の見守り」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、45～54歳で「防犯教室の開催」の割合が、24歳以下で「防犯情報の発信(大阪府警安まちメール、区公式Twitterなど)」の割合が、25～34歳で「こども110番の家」の割合が、35～44歳で「防犯カメラの設置」の割合が、55～64歳で「街路防犯灯の設置」の割合が高くなっています。



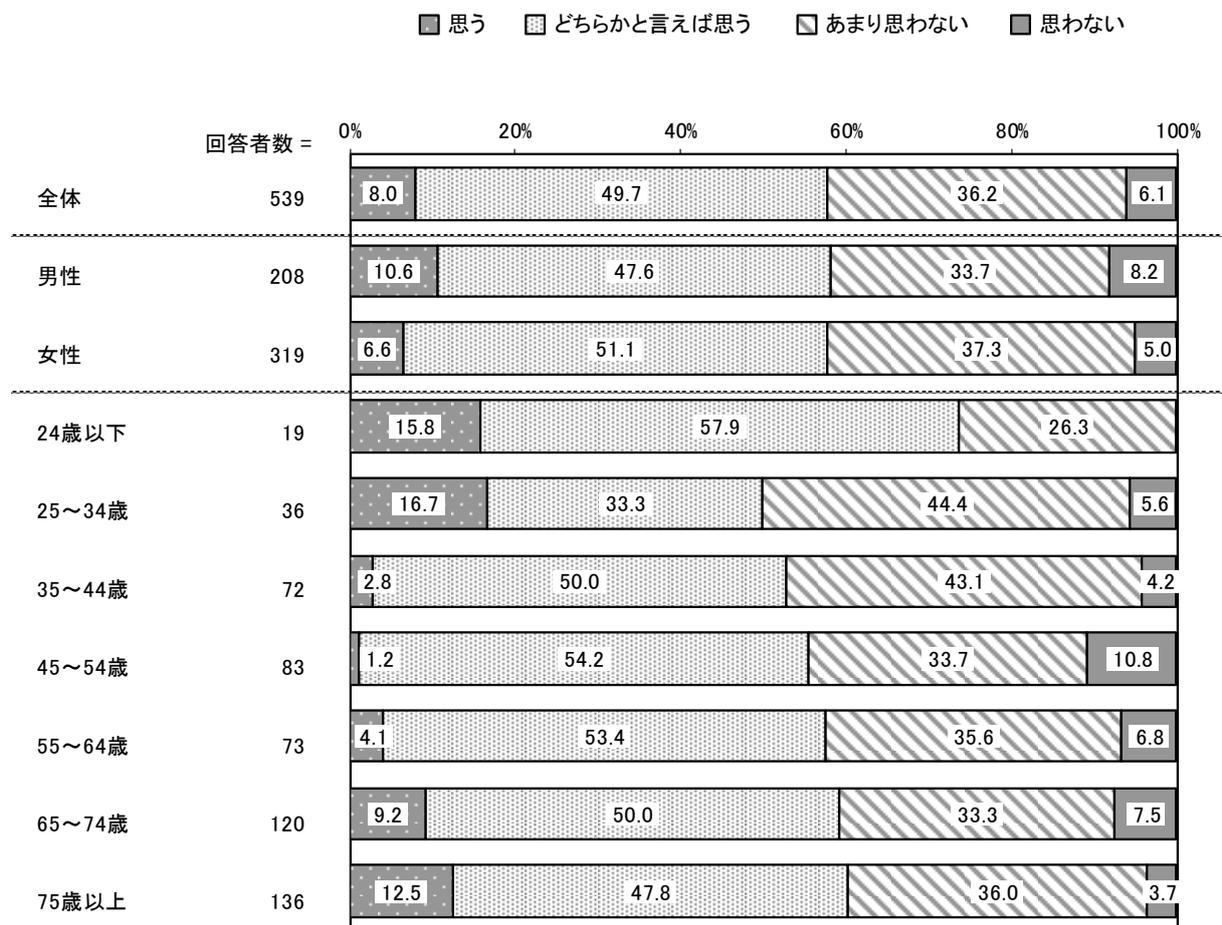
14 あなたは、東住吉区は犯罪の起こりにくいまちだと思いますか。（1つだけ）

「思う」と「どちらかと言えば思う」を合わせた“思う”の割合が57.7%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が42.3%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、24歳以下で“思う”の割合が、25～34歳で“思わない”の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	539	100%	208	100%	319	100%
思う	43	8.0%	22	10.6%	21	6.6%
どちらかと言えば思う	268	49.7%	99	47.6%	163	51.1%
あまり思わない	195	36.2%	70	33.7%	119	37.3%
思わない	33	6.1%	17	8.2%	16	5.0%



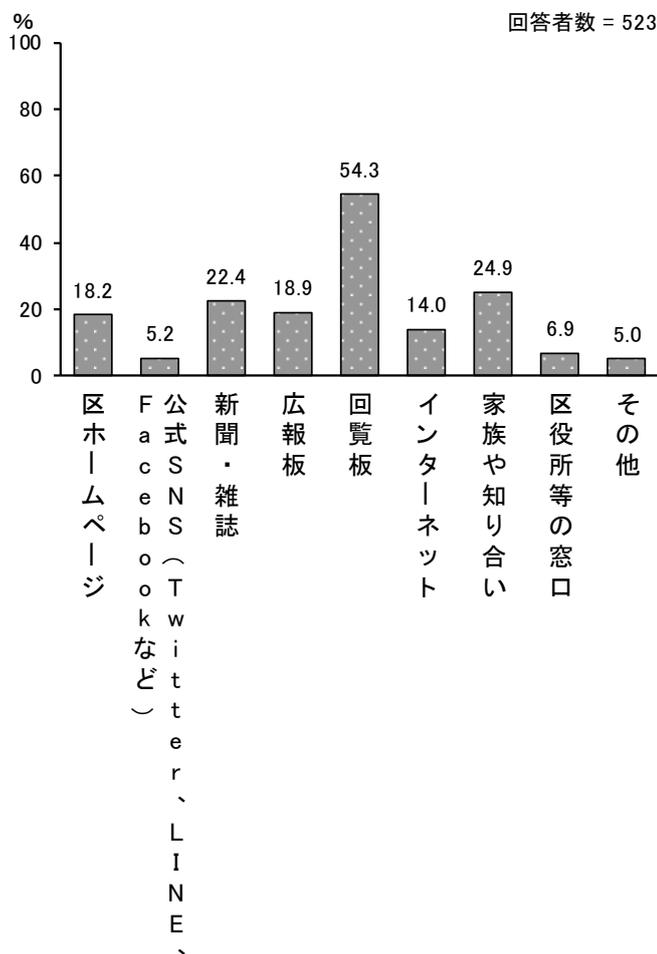
4 区政情報・区政運営について

区民の皆様がまちの情報を得やすくなるよう、区役所においてもより一層わかりやすく、伝わりやすい情報発信に取り組む必要があると考えています。そこで、次の問いにお答えください。

15 あなたは、区広報紙「広報東住吉なでしこ」以外で、どこから区政情報を得ていますか。(〇はいくつでも)

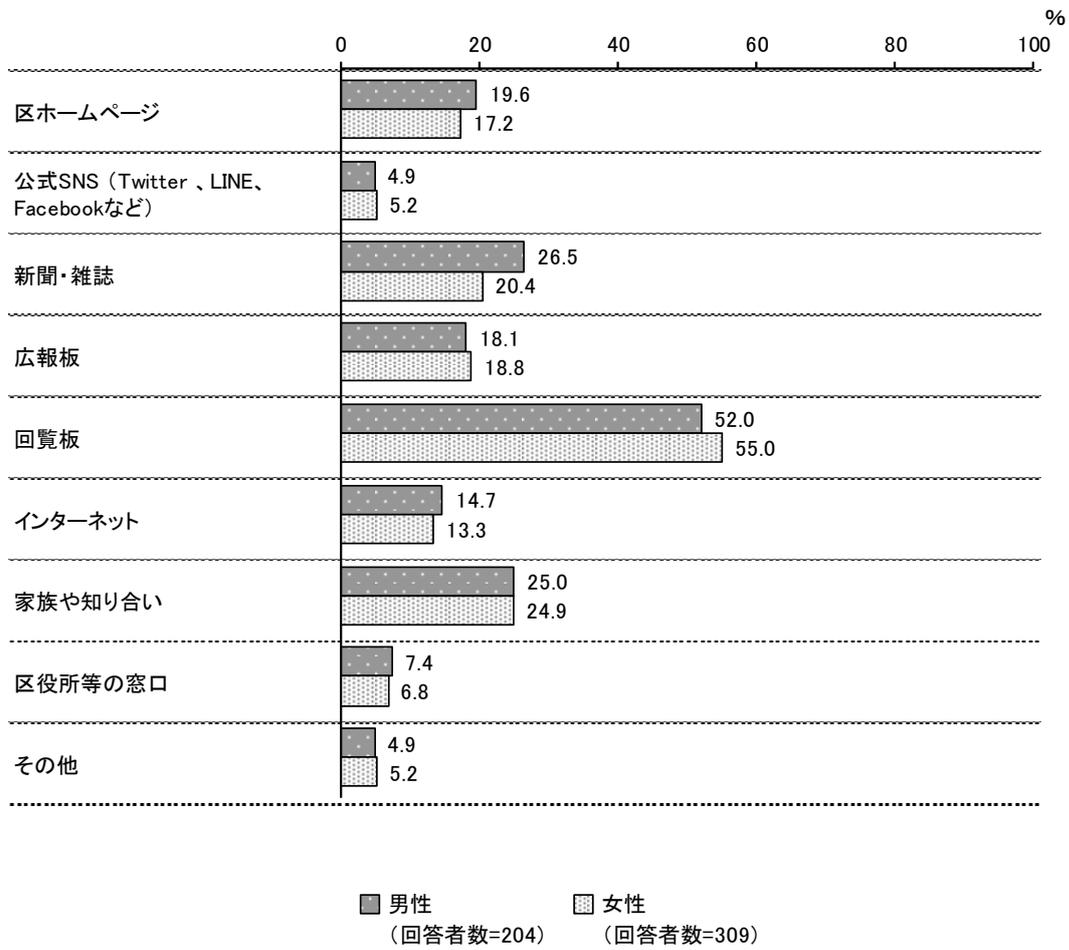
「回覧板」の割合が54.3%と最も高く、次いで「家族や知り合い」の割合が24.9%、「新聞・雑誌」の割合が22.4%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	523	100%	204	100%	309	100%
区ホームページ	95	18.2%	40	19.6%	53	17.2%
公式 SNS (Twitter、LINE、Facebook など)	27	5.2%	10	4.9%	16	5.2%
新聞・雑誌	117	22.4%	54	26.5%	63	20.4%
広報板	99	18.9%	37	18.1%	58	18.8%
回覧板	284	54.3%	106	52.0%	170	55.0%
インターネット	73	14.0%	30	14.7%	41	13.3%
家族や知り合い	130	24.9%	51	25.0%	77	24.9%
区役所等の窓口	36	6.9%	15	7.4%	21	6.8%
その他	26	5.0%	10	4.9%	16	5.2%



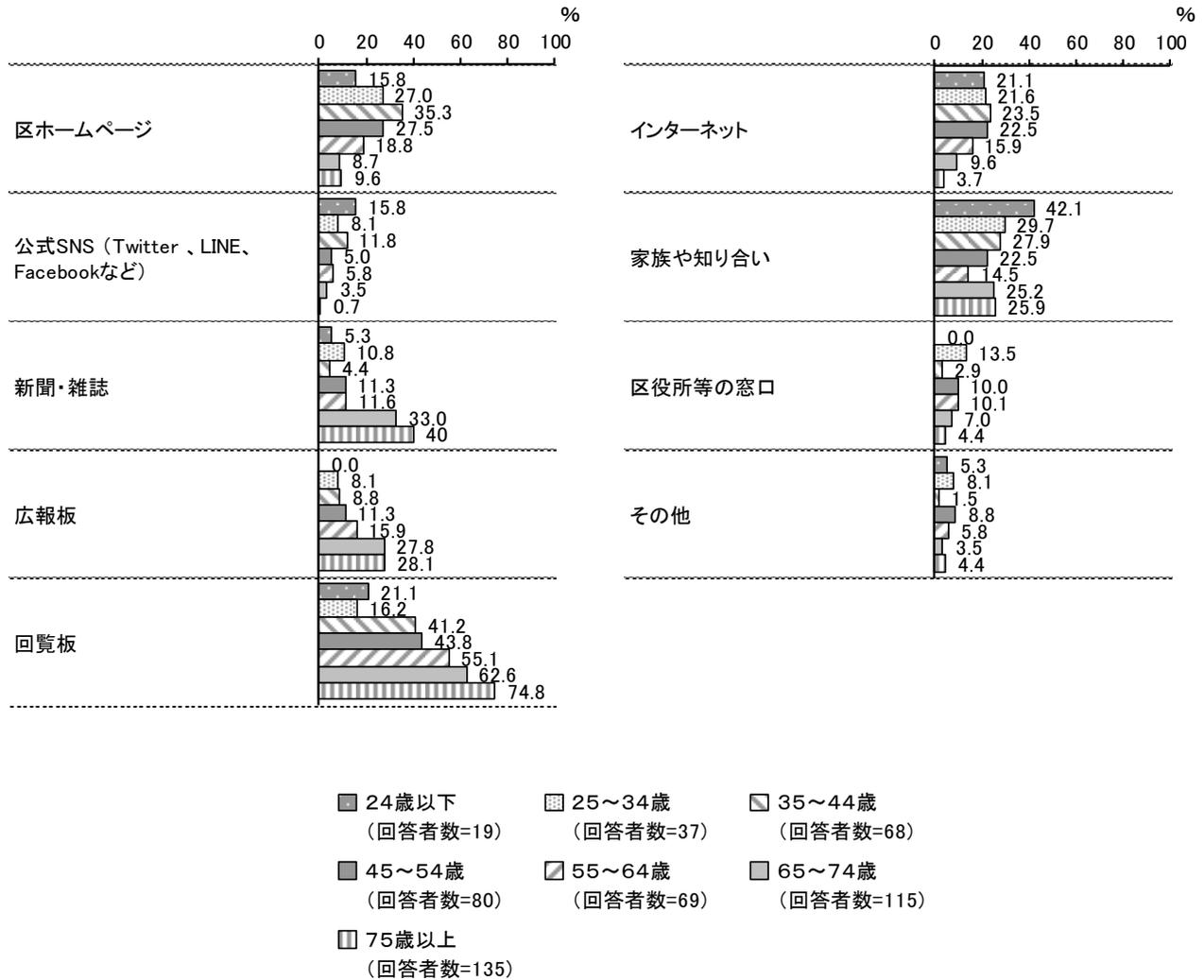
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「新聞・雑誌」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、35～44歳で「区ホームページ」「公式SNS (Twitter、LINE、Facebook など)」の割合が、25～34歳で「区役所等の窓口」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「新聞・雑誌」「広報板」「回覧板」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が低くなるほど「インターネット」「家族や知り合い」の割合が高くなる傾向がみられます。



【問 15 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
・マンション入り口に貼り出してある案内。

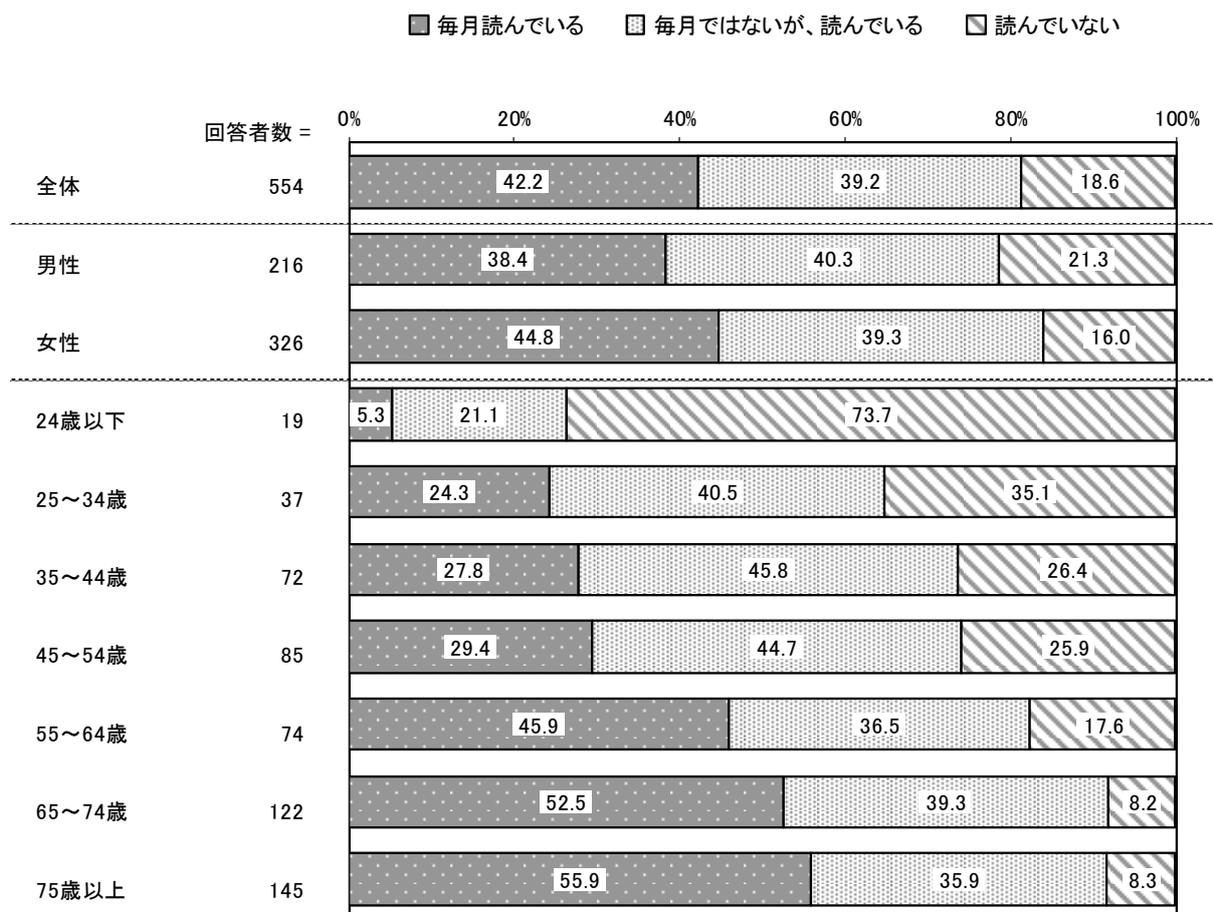
16 区役所では、毎月発行の区広報紙「広報東住吉なでしこ」を、令和2年5月号から区内の全世帯・全事業所に配布しています。あなたは、「広報東住吉なでしこ」を読んでいますか。(1つだけ)

「毎月読んでいる」の割合が42.2%と最も高く、次いで「毎月ではないが、読んでいる」の割合が39.2%、「読んでいない」の割合が18.6%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「毎月読んでいる」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「読んでいない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「毎月読んでいる」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が低くなるほど「読んでいない」の割合が高くなる傾向がみられます。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	554	100%	216	100%	326	100%
毎月読んでいる	234	42.2%	83	38.4%	146	44.8%
毎月ではないが、読んでいる	217	39.2%	87	40.3%	128	39.3%
読んでいない	103	18.6%	46	21.3%	52	16.0%



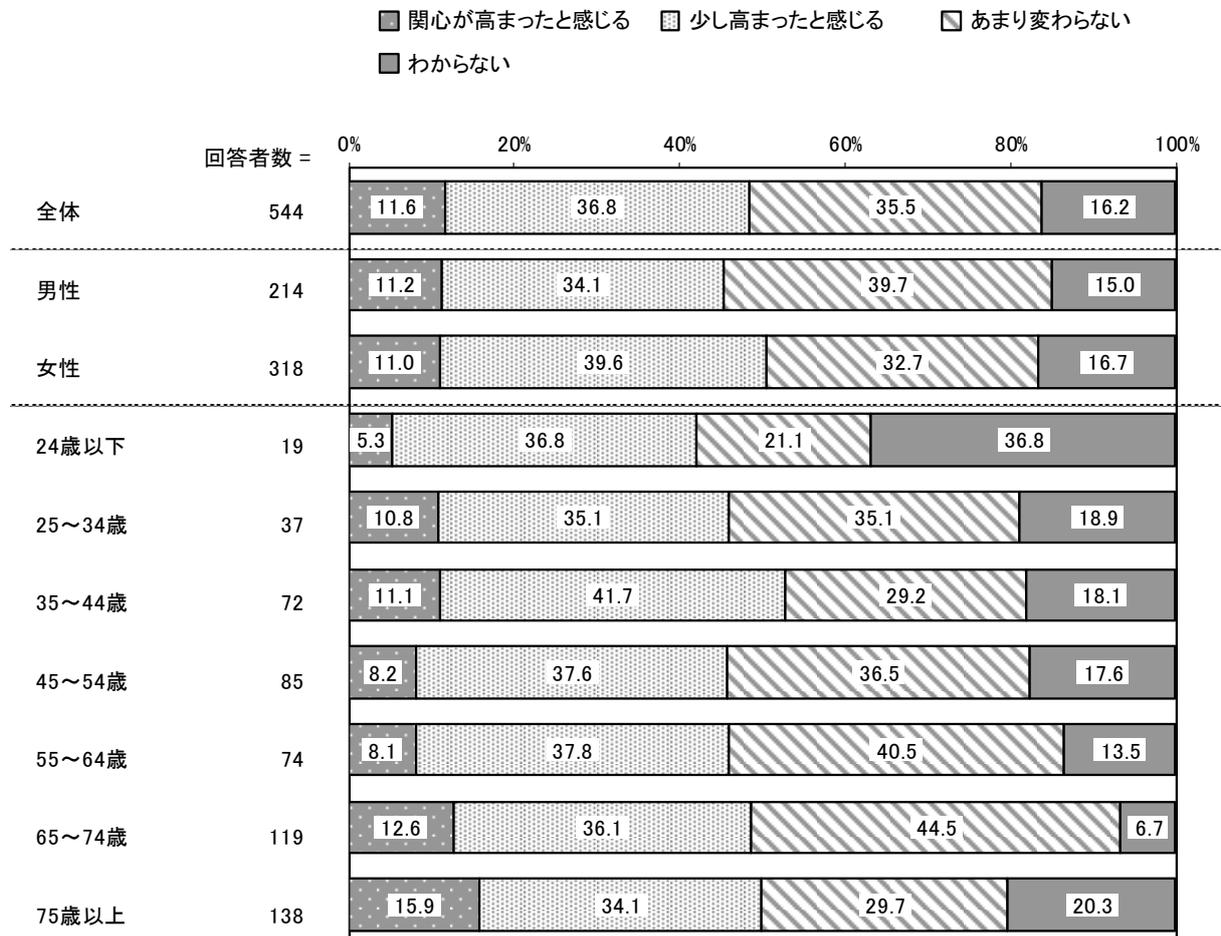
17 区役所では、区広報紙「広報東住吉なでしこ」や区ホームページ、公式 SNS (Twitter、LINE、Facebook 等) などで、防災や子育て情報、イベント情報等区民の皆様に役立つ情報を発信を行っています。
 また、親しみを持っていただける、手にとっていただけるように、写真・イラストの使用、キャッチコピーや色づかいを工夫しています。
 あなたは、これらを通して、区政に対し関心が高まったと感じますか。(1つだけ)

「関心が高まったと感じる」と「少し高まったと感じる」を合わせた“感じる”の割合が 48.4%、「あまり変わらない」の割合が 35.5%、「わからない」の割合が 16.2%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“感じる”の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「あまり変わらない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、35～44 歳で“感じる”の割合が、65～74 歳で「あまり変わらない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、24 歳以下で「わからない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	544	100%	214	100%	318	100%
関心が高まったと感じる	63	11.6%	24	11.2%	35	11.0%
少し高まったと感じる	200	36.8%	73	34.1%	126	39.6%
あまり変わらない	193	35.5%	85	39.7%	104	32.7%
わからない	88	16.2%	32	15.0%	53	16.7%



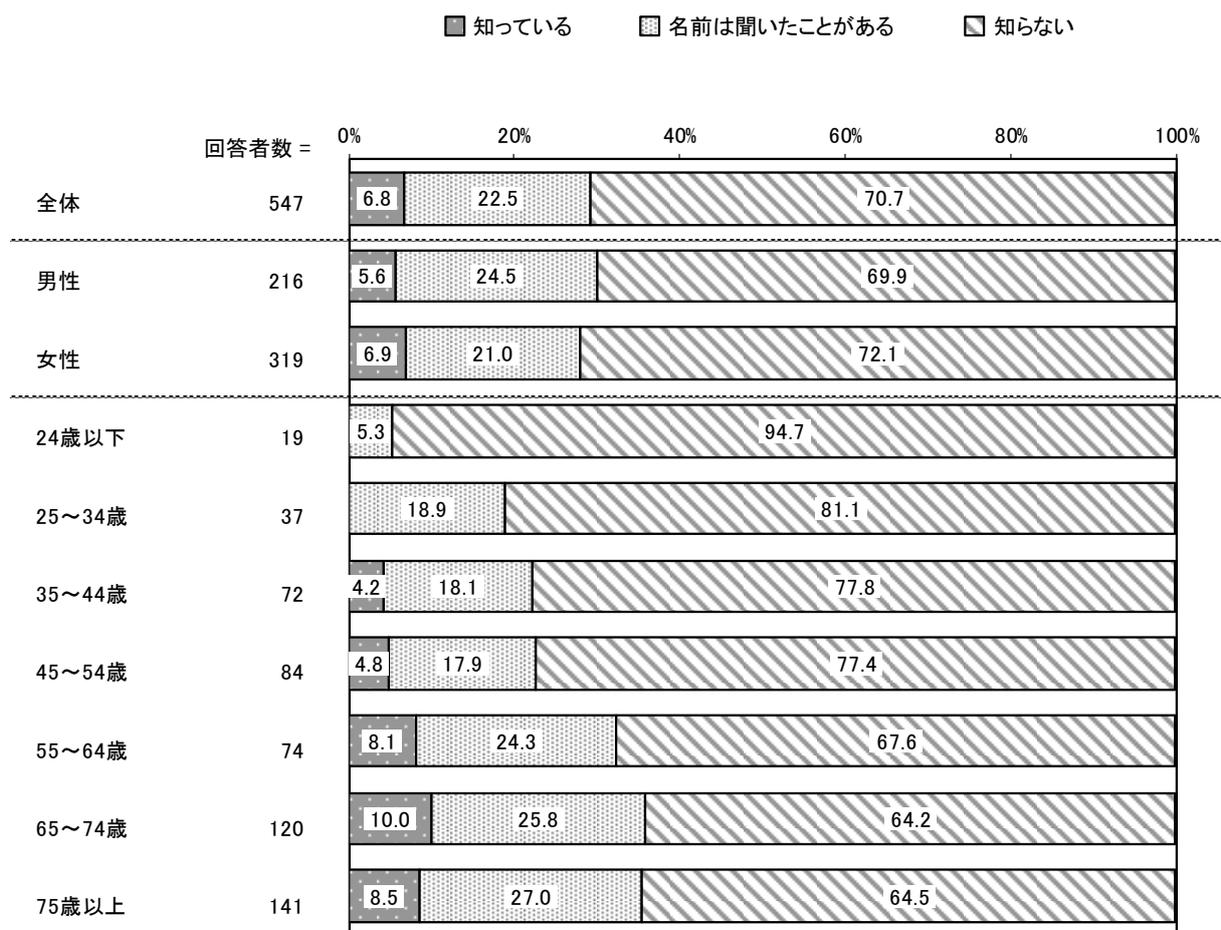
18 地域の団体・企業・公募の方などで構成される区政会議において東住吉区がより住みやすいまちになるようにご意見やご提案をいただいています。
あなたは、「区政会議」を知っていますか。（1つだけ）

「知らない」の割合が70.7%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が22.5%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、65～74歳で「知っている」の割合が、75歳以上で「名前は聞いたことがある」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるほど「知らない」の割合が高くなる傾向がみられます。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	547	100%	216	100%	319	100%
知っている	37	6.8%	12	5.6%	22	6.9%
名前は聞いたことがある	123	22.5%	53	24.5%	67	21.0%
知らない	387	70.7%	151	69.9%	230	72.1%



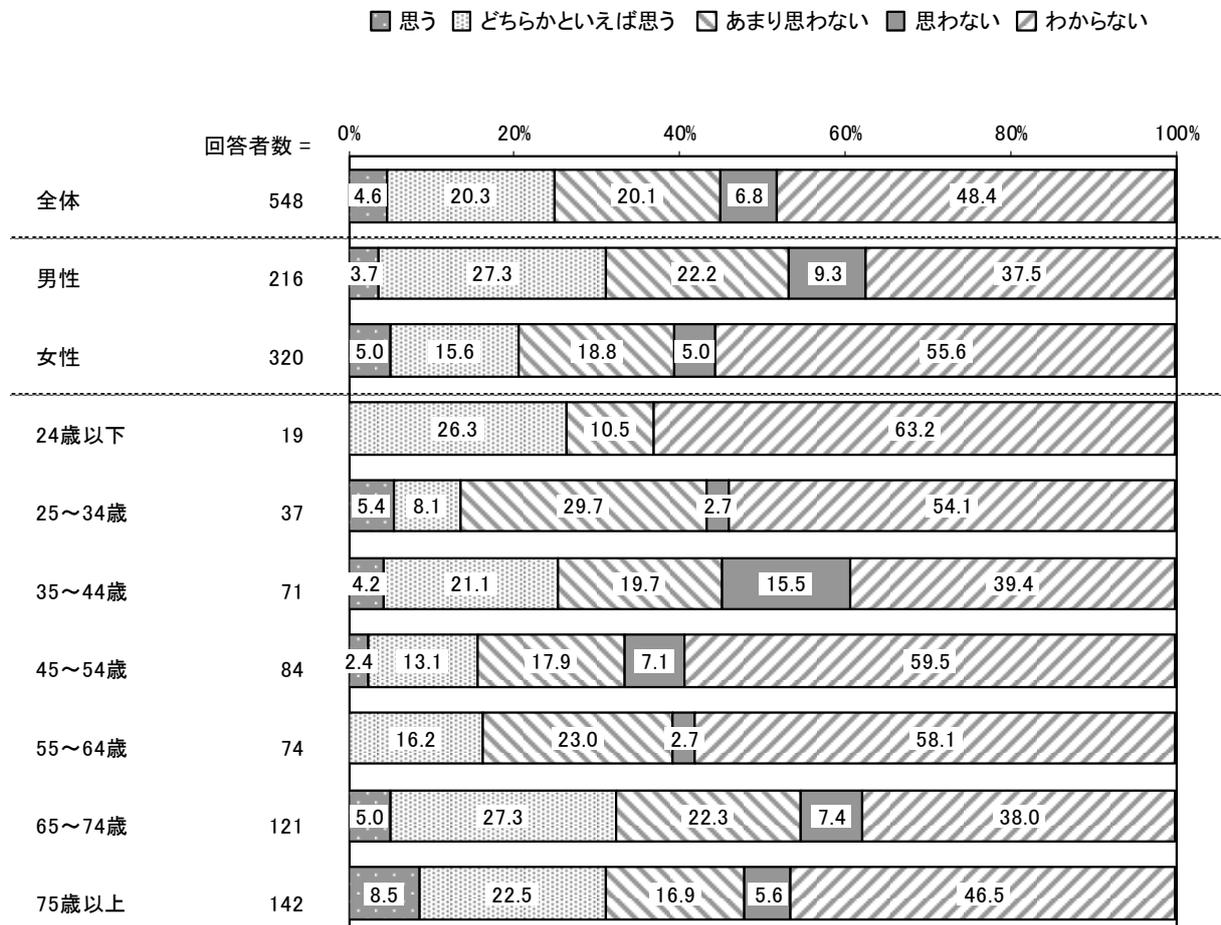
19 区役所では、「区民アンケート」や「市民の声」で、区政に対するご意見を伺うほか、「区政会議」により、東住吉区がより住みやすいまちになるように地域で抱える課題や将来に関する様々なことを議論いただき区政に反映していきます。あなたは、これらの取り組みによって、区民の皆様のご意見やご要望が区政に反映されていると思いますか。（1つだけ）

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた“思う”の割合が24.9%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が33.7%、「わからない」の割合が48.4%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で“思う”“思わない”の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65～74歳で“思う”の割合が、35～44歳で“思わない”の割合が高くなっています。また、他に比べ、24歳以下で「わからない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	548	100%	216	100%	320	100%
思う	25	4.6%	8	3.7%	16	5.0%
どちらかといえば思う	111	20.3%	59	27.3%	50	15.6%
あまり思わない	110	20.1%	48	22.2%	60	18.8%
思わない	37	6.8%	20	9.3%	16	5.0%
わからない	265	48.4%	81	37.5%	178	55.6%



20 東住吉区では、みんながつながるまちづくりの推進に向け、家族や地域の人など身近な人とのつながりが重要であると考えています。
 あなたは、地域団体や市民、NPO、企業などいろいろな方々が連携・協働し、校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が進められていると思いますか。（1つだけ）

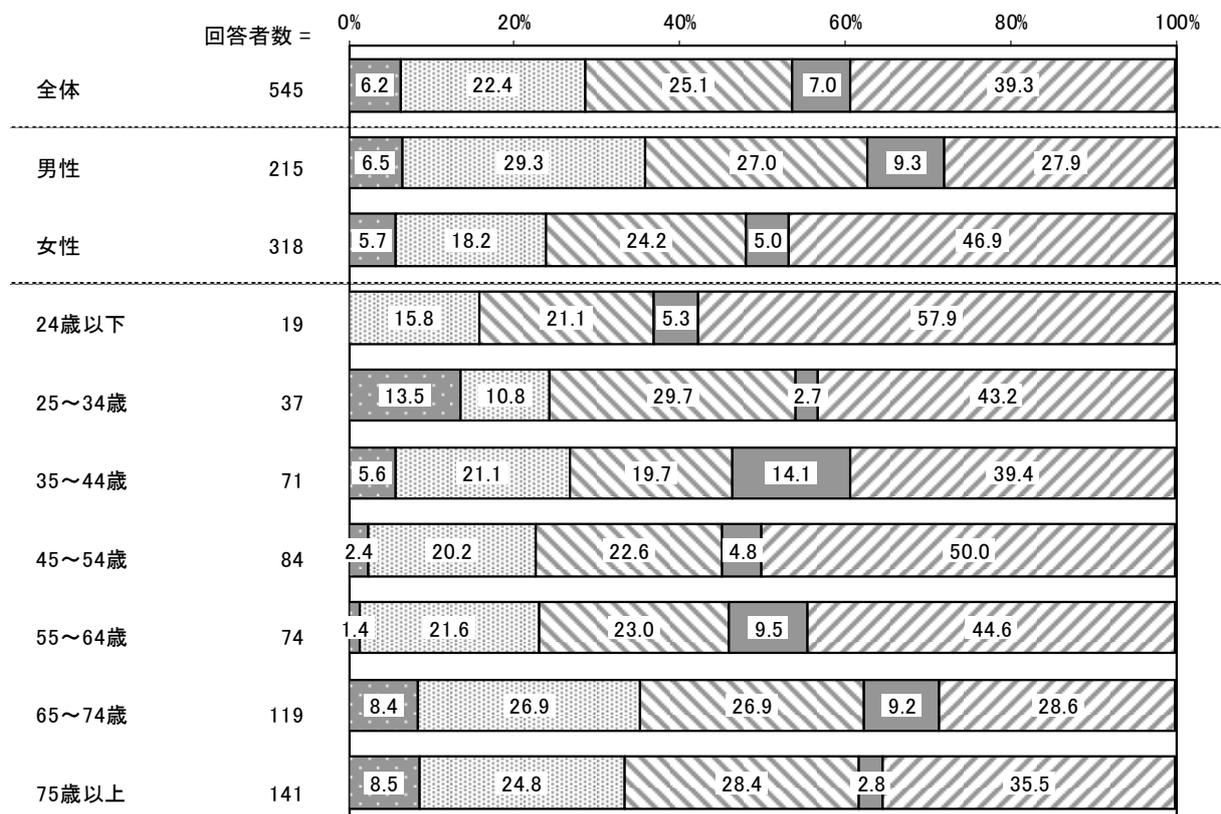
「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた“思う”の割合が28.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が32.1%、「わからない」の割合が39.3%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で“思う”“思わない”の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65～74歳で“思う”の割合が、35～44歳で“思わない”の割合が高くなっています。また、他に比べ、24歳以下で「わからない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	545	100%	215	100%	318	100%
思う	34	6.2%	14	6.5%	18	5.7%
どちらかといえば思う	122	22.4%	63	29.3%	58	18.2%
あまり思わない	137	25.1%	58	27.0%	77	24.2%
思わない	38	7.0%	20	9.3%	16	5.0%
わからない	214	39.3%	60	27.9%	149	46.9%

■ 思う □ どちらかといえば思う ▨ あまり思わない ■ 思わない ▩ わからない



5 シェアサイクルについて

東住吉区では、住民の移動利便性向上と来訪者の区内回遊性向上に資する新たな交通手段として有効性があること及びこれらに関する課題を検証するため令和3年11月1日からシェアサイクル実証実験を実施しています。そこで、次の問にお答えください。

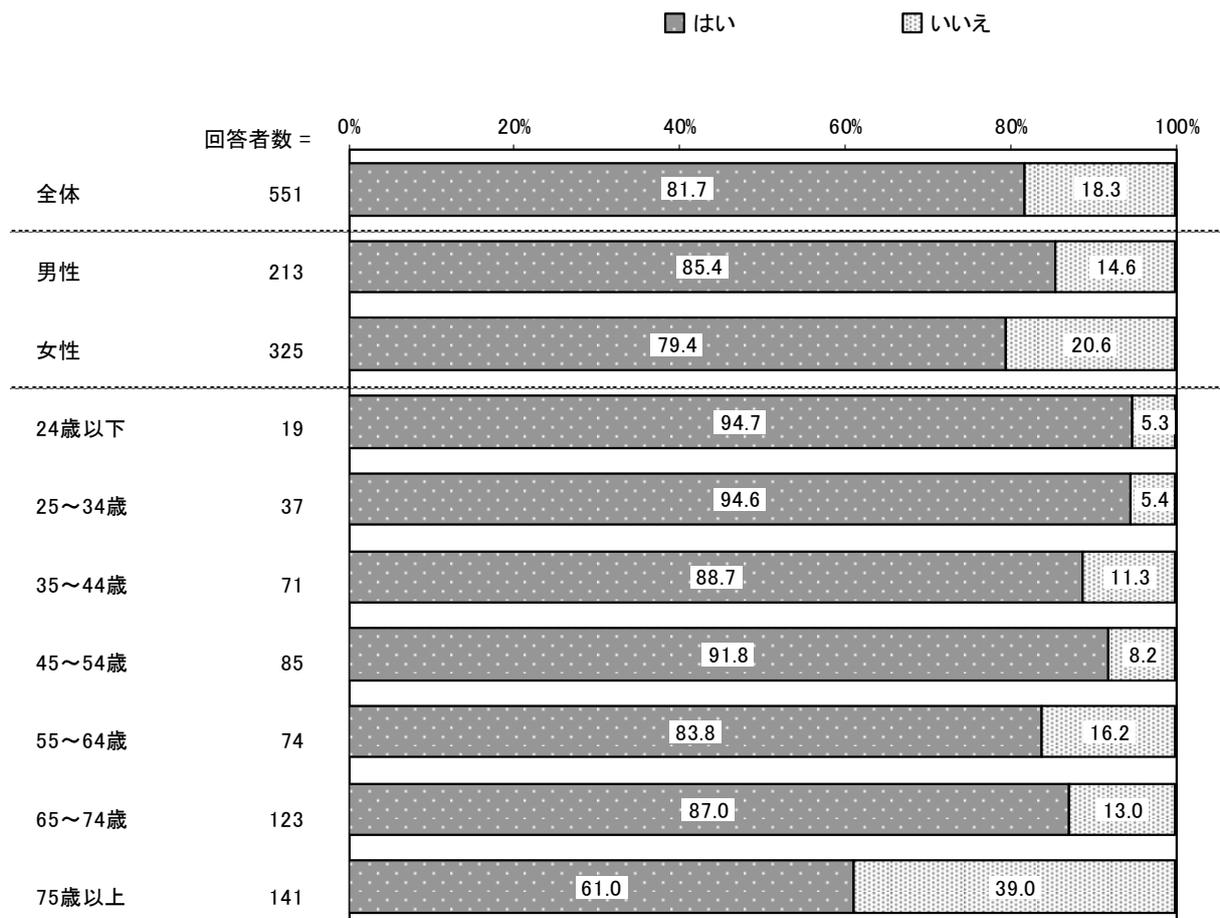
21 あなたは自転車を所有していますか。(1つだけ)

「はい」の割合が81.7%、「いいえ」の割合が18.3%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「いいえ」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるほど「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が高くなるにつれて「いいえ」の割合が高くなる傾向がみられます。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	551	100%	213	100%	325	100%
はい	450	81.7%	182	85.4%	258	79.4%
いいえ	101	18.3%	31	14.6%	67	20.6%



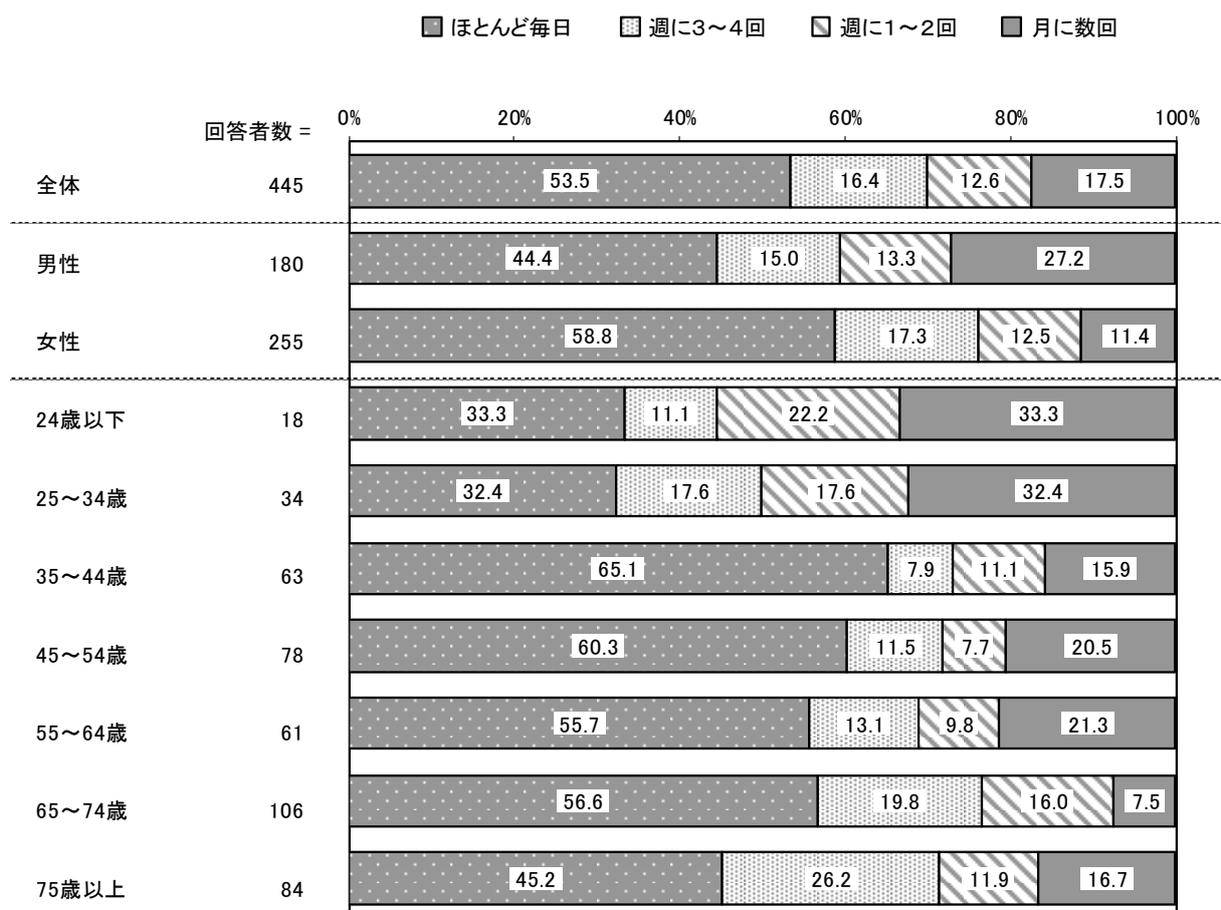
22 あなたは自転車をどのくらいの頻度で利用しますか。(1つだけ)

「ほとんど毎日」の割合が53.5%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が17.5%、「週に3～4回」の割合が16.4%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「月に数回」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、35～44歳で「ほとんど毎日」の割合が、75歳以上で「週に3～4回」の割合が高くなっています。また、他に比べ、24歳以下で「週に1～2回」「月に数回」の割合が高くなっています。

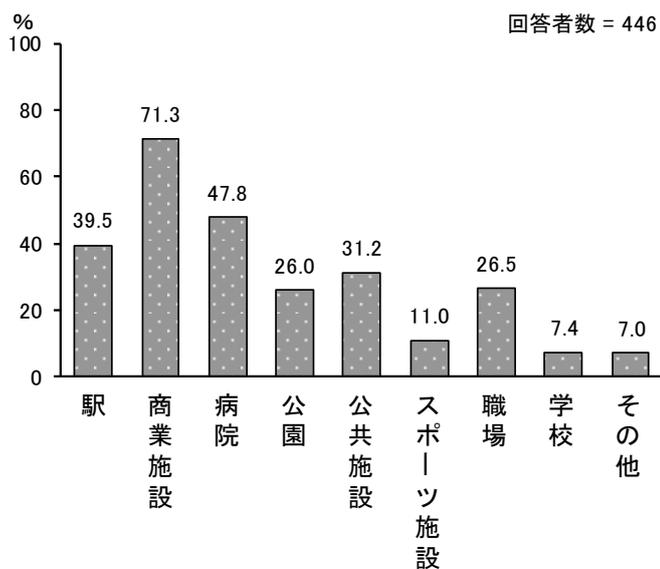
項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	445	100%	180	100%	255	100%
ほとんど毎日	238	53.5%	80	44.4%	150	58.8%
週に3～4回	73	16.4%	27	15.0%	44	17.3%
週に1～2回	56	12.6%	24	13.3%	32	12.5%
月に数回	78	17.5%	49	27.2%	29	11.4%



23 あなたは自転車をどのような施設を訪れるときに利用しますか。(〇はいくつでも)

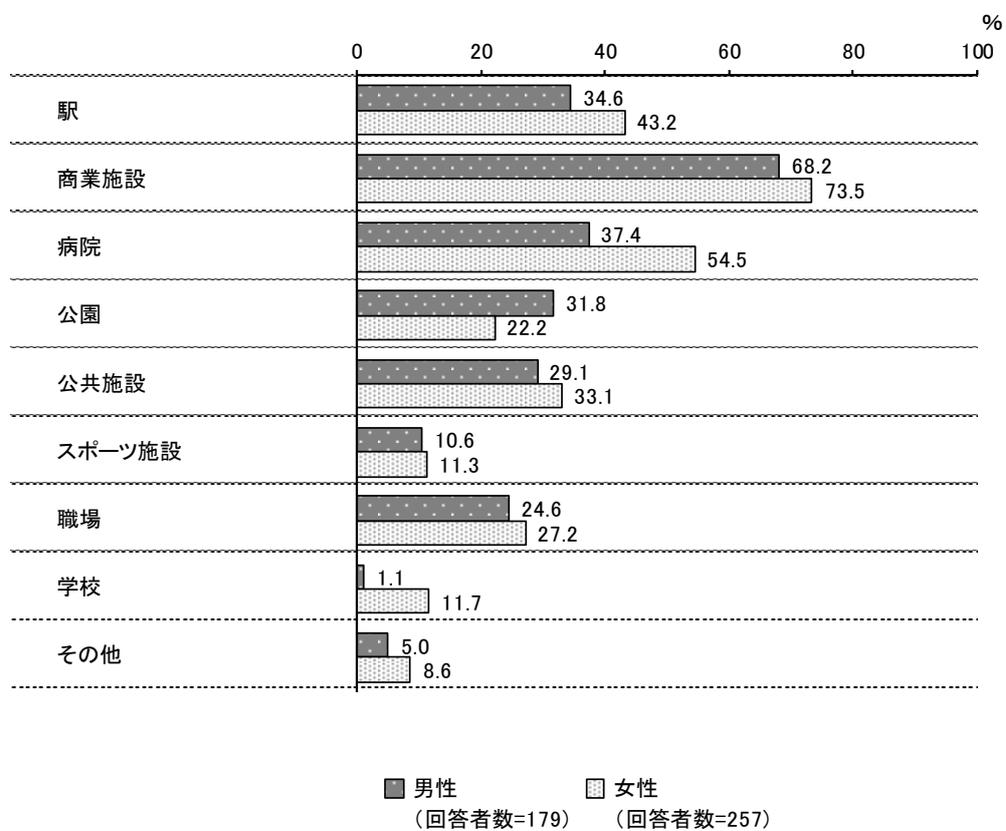
「商業施設」の割合が71.3%と最も高く、次いで「病院」の割合が47.8%、「駅」の割合が39.5%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	446	100%	179	100%	257	100%
駅	176	39.5%	62	34.6%	111	43.2%
商業施設	318	71.3%	122	68.2%	189	73.5%
病院	213	47.8%	67	37.4%	140	54.5%
公園	116	26.0%	57	31.8%	57	22.2%
公共施設	139	31.2%	52	29.1%	85	33.1%
スポーツ施設	49	11.0%	19	10.6%	29	11.3%
職場	118	26.5%	44	24.6%	70	27.2%
学校	33	7.4%	2	1.1%	30	11.7%
その他	31	7.0%	9	5.0%	22	8.6%



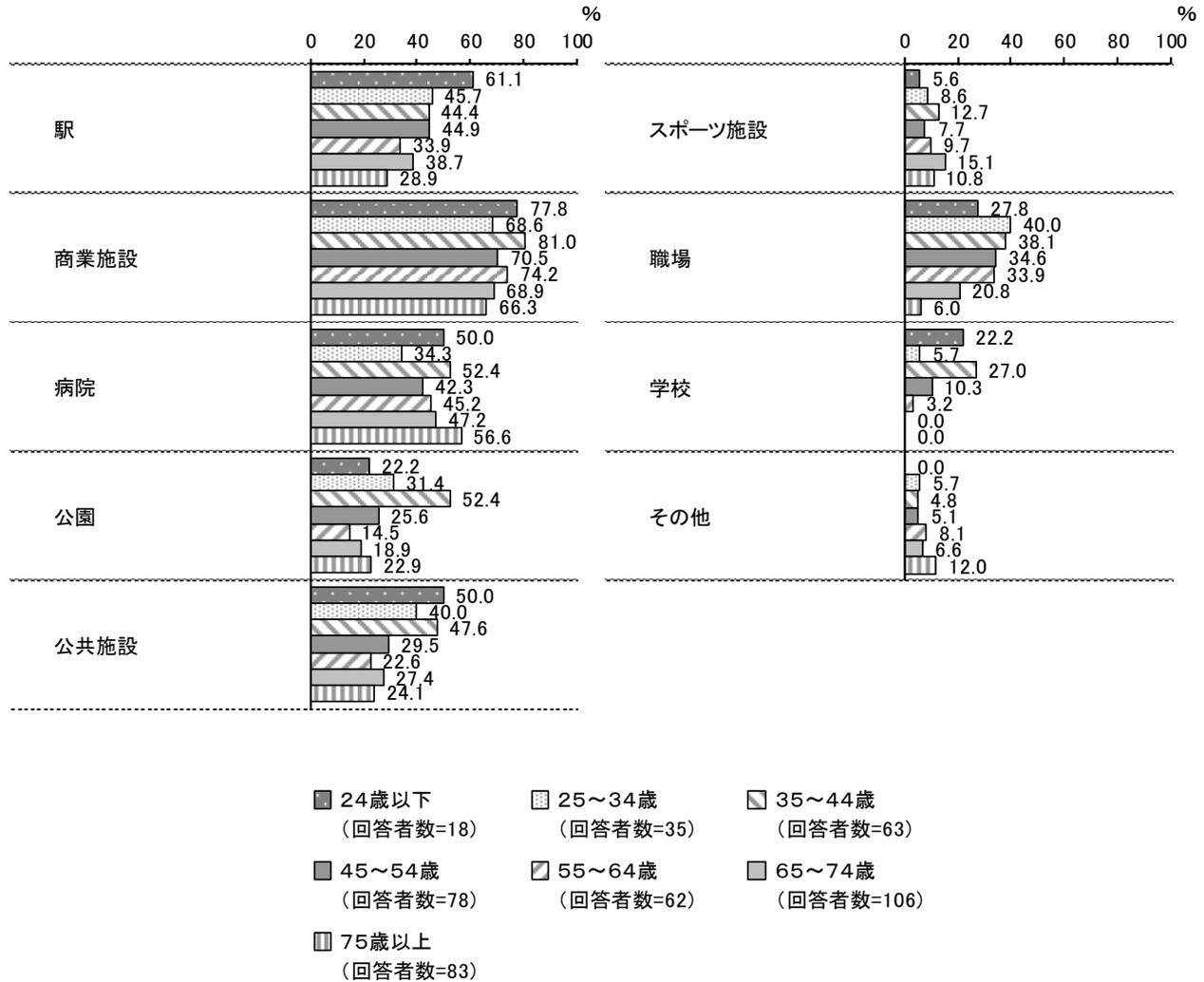
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「駅」「商業施設」「病院」「公共施設」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「公園」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるほど「駅」「商業施設」「公共施設」「職場」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、75歳以上で「病院」の割合が、35～44歳で「公園」「学校」の割合が、65～74歳で「スポーツ施設」の割合が高くなっています。



【問 23 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
<ul style="list-style-type: none"> ・実家の見守り。 ・子どもの家。 ・畑。 ・趣味のサークル。

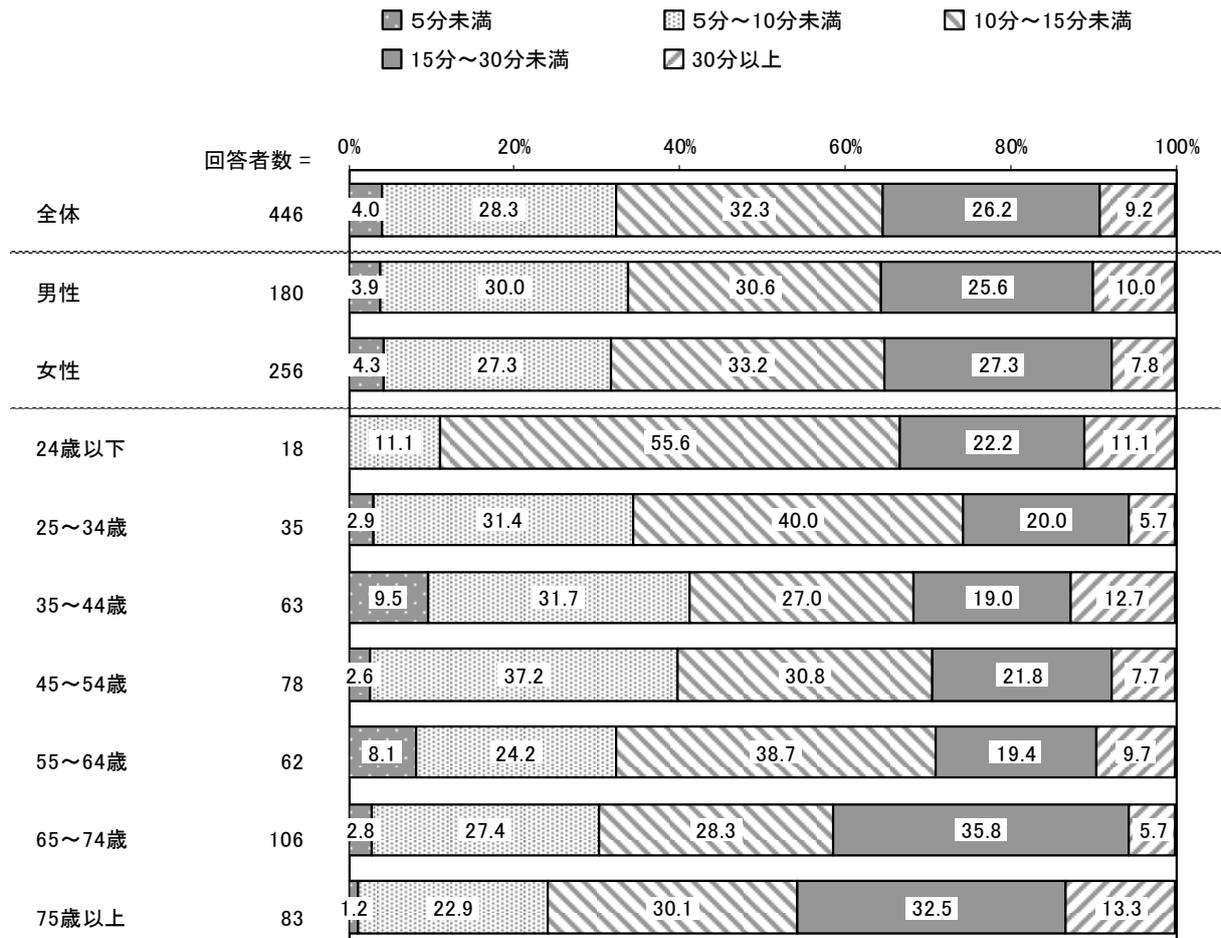
24 目的地までの自転車の平均的な利用時間(1回)はどれ位ですか。(1つだけ)

「10分～15分未満」の割合が32.3%と最も高く、次いで「5分～10分未満」の割合が28.3%、「15分～30分未満」の割合が26.2%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、35～44歳で「5分未満」の割合が、45～54歳で「5分～10分未満」の割合が高くなっています。また、他に比べ、24歳以下で「10分～15分未満」の割合が、65～74歳で「15分～30分未満」の割合が、75歳以上で「30分以上」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	446	100%	180	100%	256	100%
5分未満	18	4.0%	7	3.9%	11	4.3%
5分～10分未満	126	28.3%	54	30.0%	70	27.3%
10分～15分未満	144	32.3%	55	30.6%	85	33.2%
15分～30分未満	117	26.2%	46	25.6%	70	27.3%
30分以上	41	9.2%	18	10.0%	20	7.8%



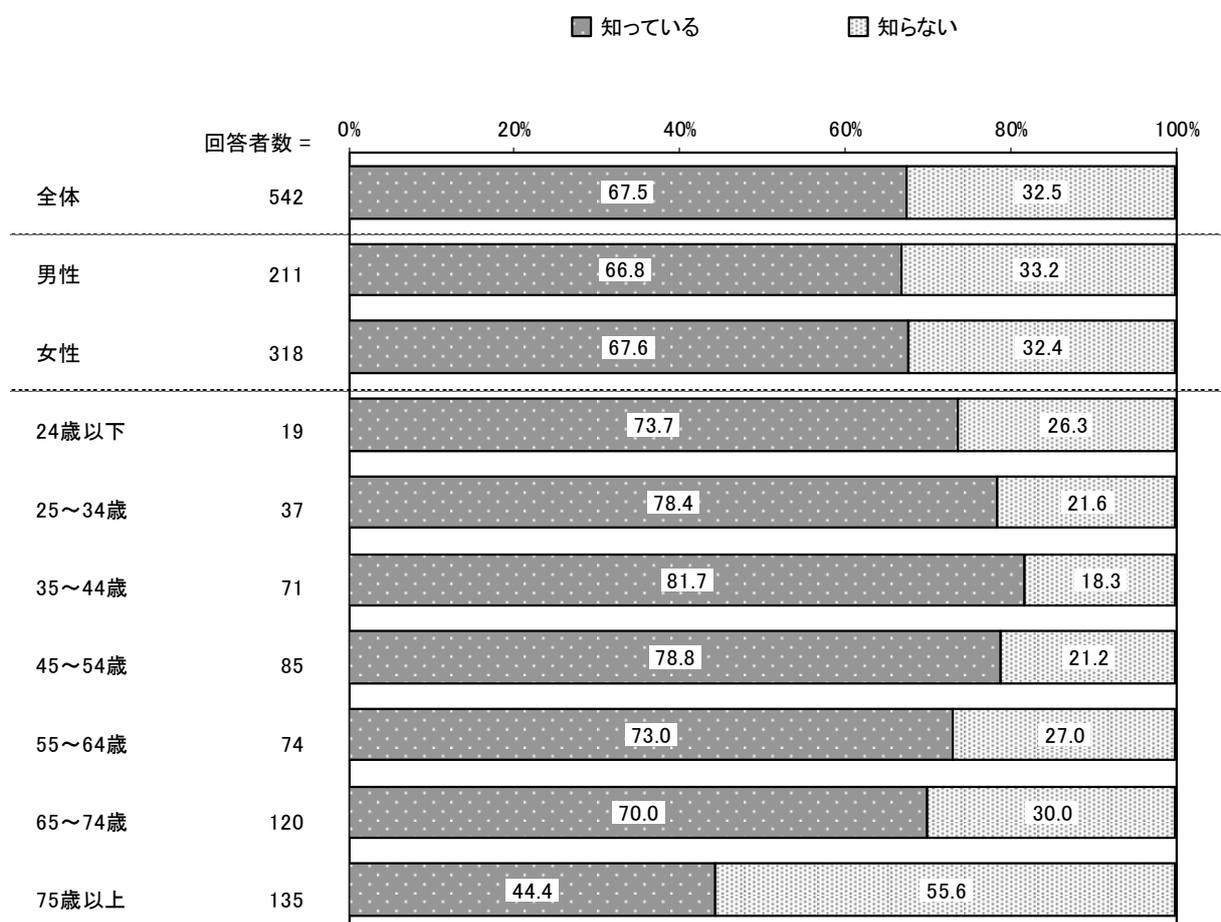
25 あなたは、「シェアサイクル」を知っていますか。(1つだけ)

「知っている」の割合が67.5%、「知らない」の割合が32.5%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

年齢別でみると、年齢が低くなるほど「知っている」の割合が高くなる傾向が見られます。一方、年齢が高くなるにつれて「知らない」の割合が高くなる傾向がみられます。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全体	542	100%	211	100%	318	100%
知っている	366	67.5%	141	66.8%	215	67.6%
知らない	176	32.5%	70	33.2%	103	32.4%



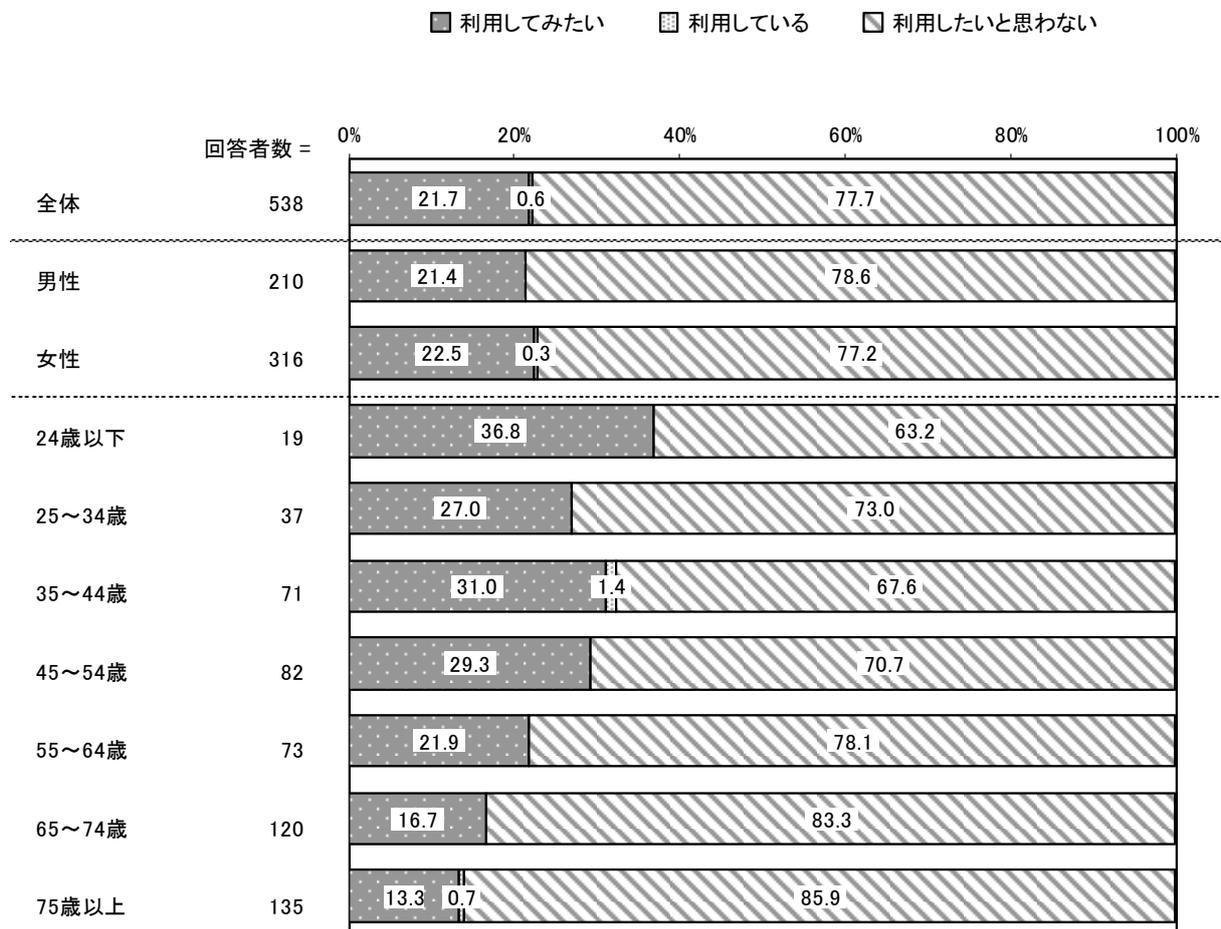
26 あなたはシェアサイクルを利用したいと思いますか。(1つだけ)

「利用したいと思わない」の割合が77.7%と最も高く、次いで「利用してみたい」の割合が21.7%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

年齢別でみると、年齢が低くなるほど「利用してみたい」の割合が高くなる傾向が見られます。一方、年齢が高くなるにつれて「利用したいと思わない」の割合が高くなる傾向がみられます。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	538	100%	210	100%	316	100%
利用してみたい	117	21.7%	45	21.4%	71	22.5%
利用している	3	0.6%	-	-%	1	0.3%
利用したいと思わない	418	77.7%	165	78.6%	244	77.2%

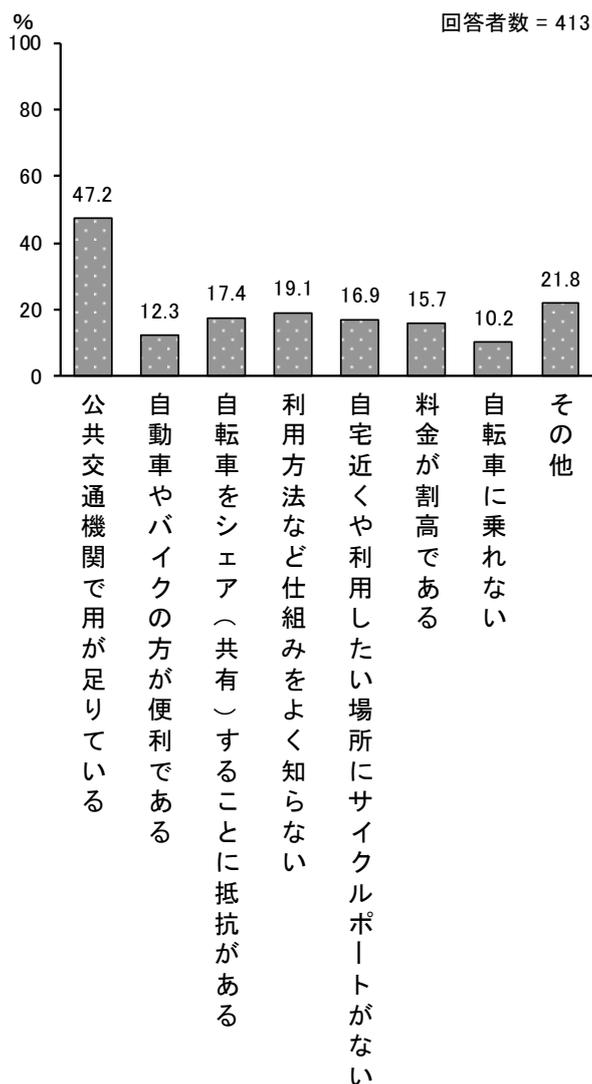


問 26 で「3 利用したいと思わない」と回答された方にお聞きします。

27 利用したいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

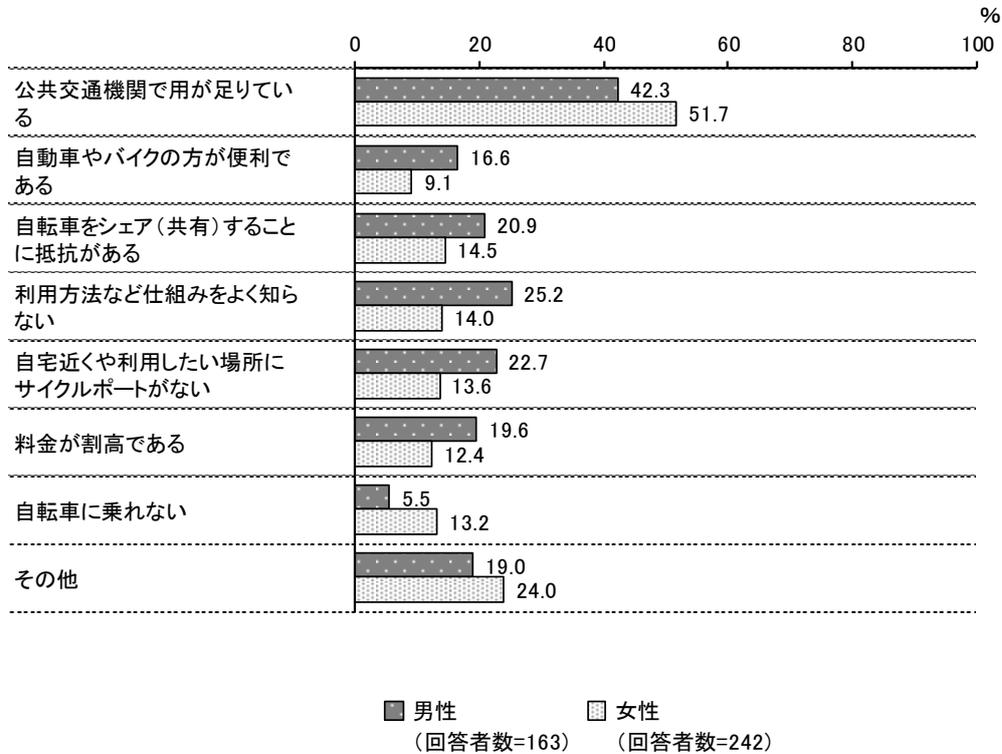
「公共交通機関で用が足りている」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「利用方法など仕組みをよく知らない」の割合が 19.1%、「自転車をシェア（共有）することに抵抗がある」の割合が 17.4%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	413	100%	163	100%	242	100%
公共交通機関で用が足りている	195	47.2%	69	42.3%	125	51.7%
自動車やバイクの方が便利である	51	12.3%	27	16.6%	22	9.1%
自転車をシェア(共有)することに抵抗がある	72	17.4%	34	20.9%	35	14.5%
利用方法など仕組みをよく知らない	79	19.1%	41	25.2%	34	14.0%
自宅近くや利用したい場所にサイクルポートがない	70	16.9%	37	22.7%	33	13.6%
料金が割高である	65	15.7%	32	19.6%	30	12.4%
自転車に乗れない	42	10.2%	9	5.5%	32	13.2%
その他	90	21.8%	31	19.0%	58	24.0%



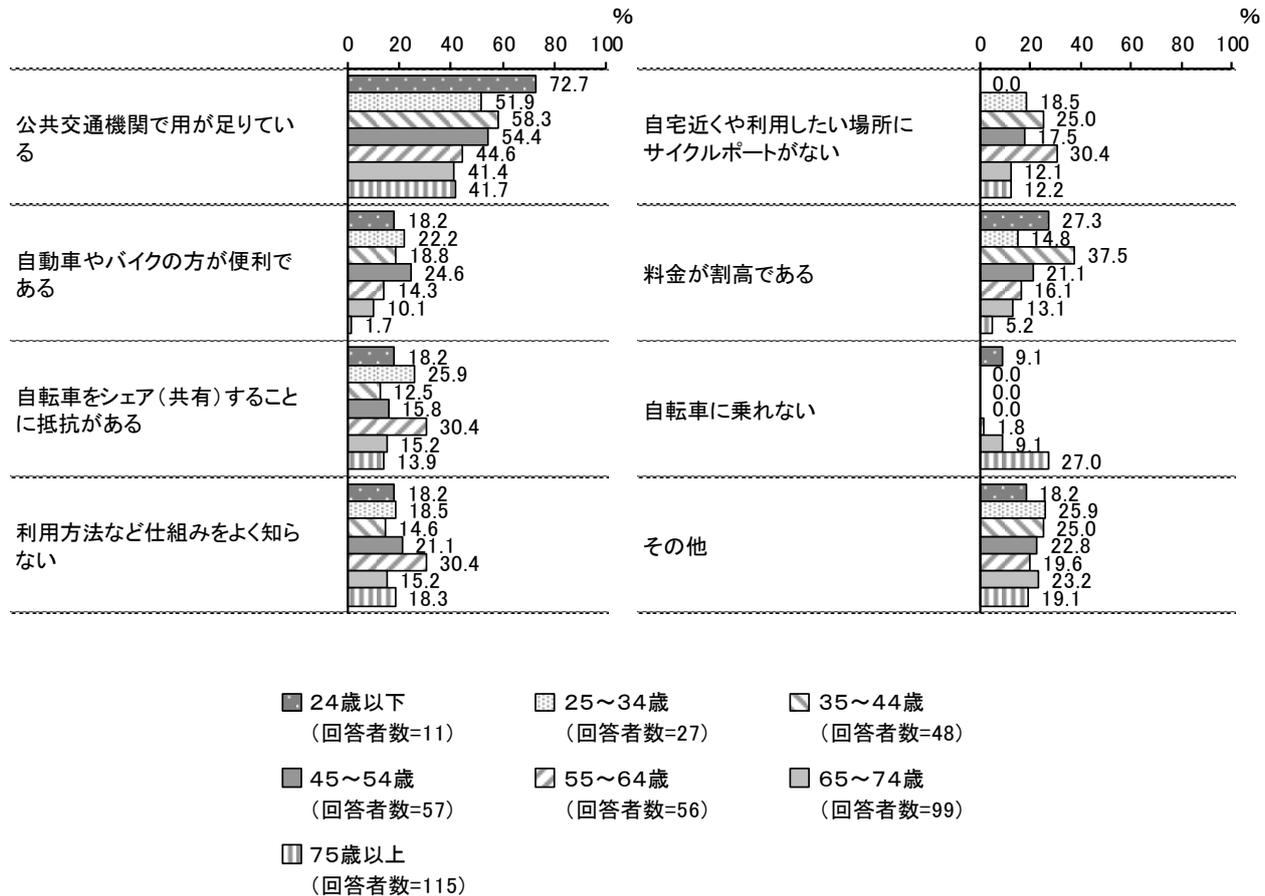
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「公共交通機関で足りている」「自転車に乗れない」の割合が、女性に比べ、男性で「自転車やバイクの方が便利である」「自転車をシェア（共有）することに抵抗がある」「利用方法など仕組みをよく知らない」「自宅近くや利用したい場所にサイクルポートがない」「料金が割高である」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるほど「公共交通機関で用が足りている」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、45～54歳で「自動車やバイクの方が便利である」の割合が、55～64歳で「自転車をシェア（共有）することに抵抗がある」「利用方法など仕組みをよく知らない」「自宅近くや利用したい場所にサイクルポートがない」の割合が、35～44歳で「料金が割高である」の割合が、75歳以上で「自転車に乗れない」の割合が高くなっています。



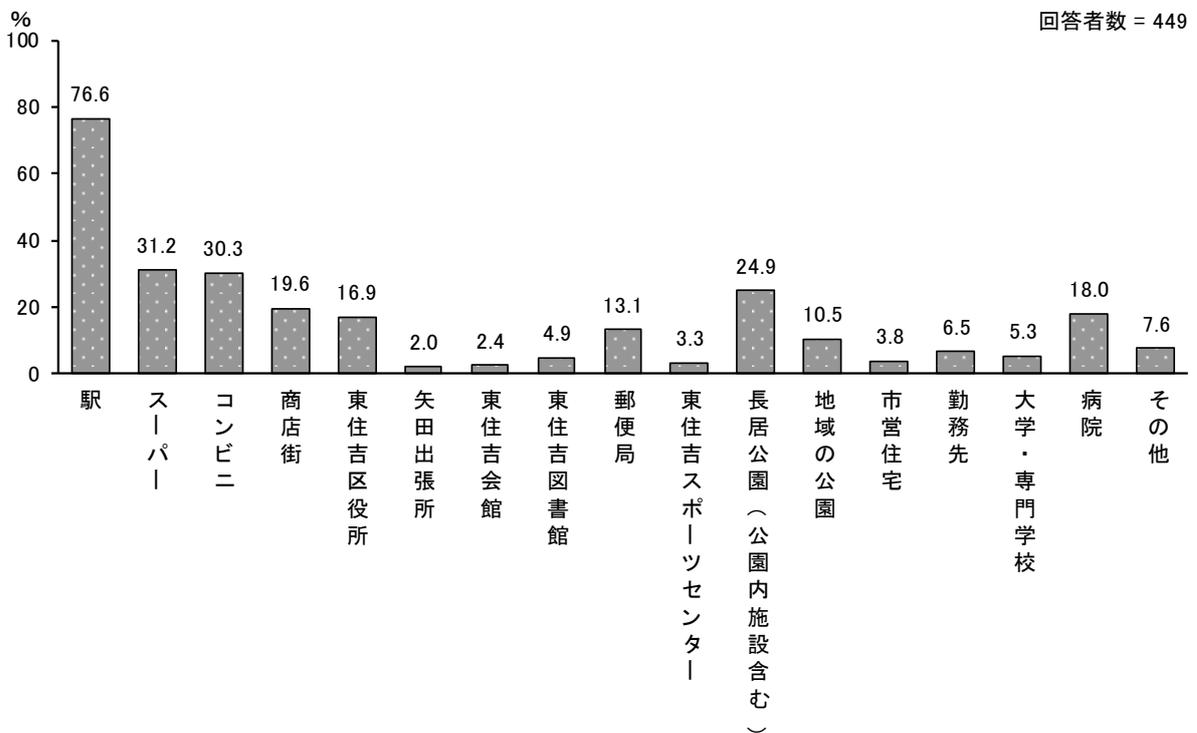
【問 27 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の自転車に乗りたい。 ・今のところ必要性を感じたことがない。 ・自分に合うサイズか不安もある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、不特定多数が利用する事に抵抗がある。

28 あなたはどういった場所（周辺）にポートがあれば便利だと思いますか。
（〇はいくつでも）

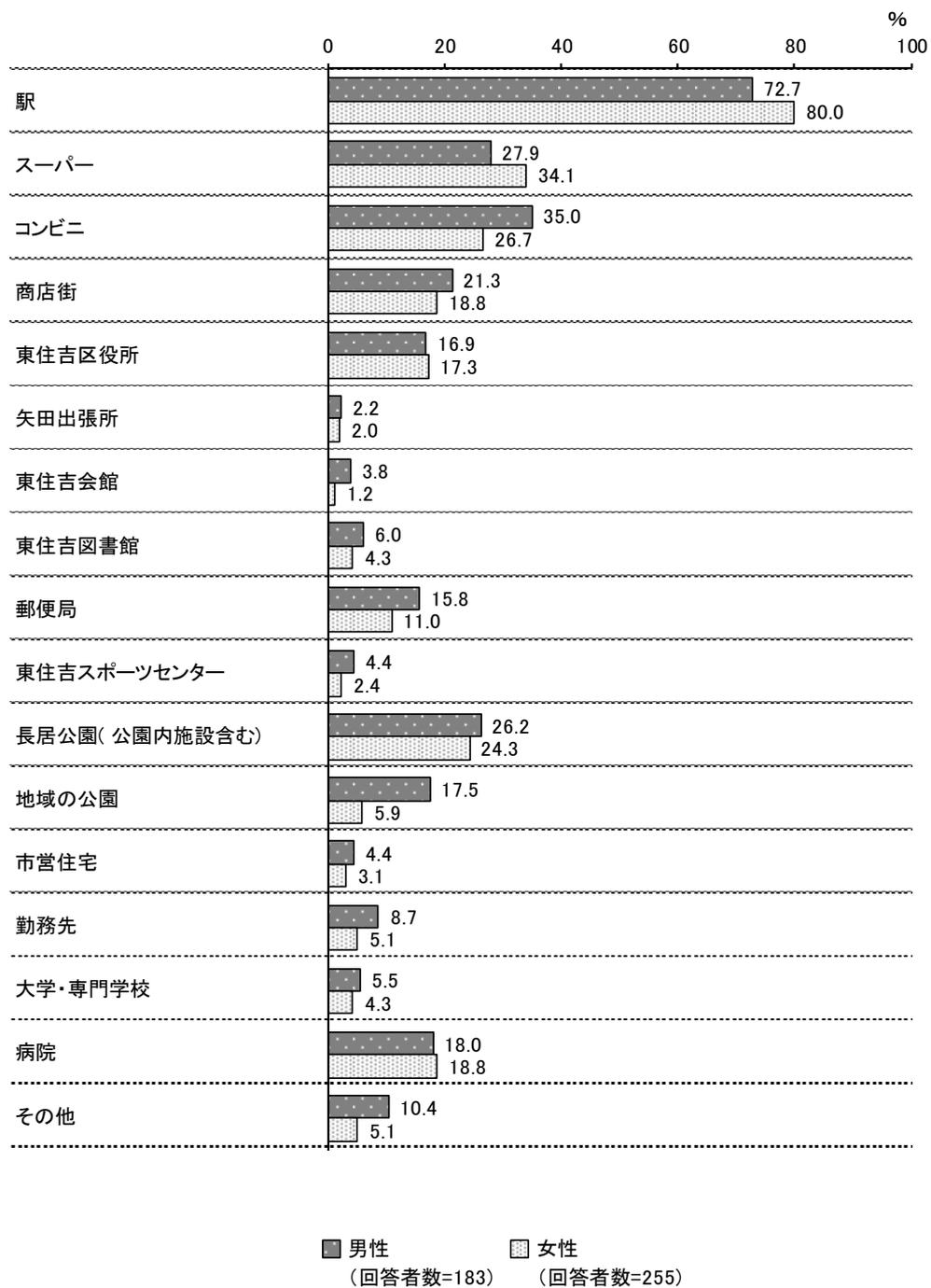
「駅」の割合が76.6%と最も高く、次いで「スーパー」の割合が31.2%、「コンビニ」の割合が30.3%となっています。

項目	全体		性別			
	回答数	割合	男性		女性	
			回答数	割合	回答数	割合
全 体	449	100%	183	100%	255	100%
駅	344	76.6%	133	72.7%	204	80.0%
スーパー	140	31.2%	51	27.9%	87	34.1%
コンビニ	136	30.3%	64	35.0%	68	26.7%
商店街	88	19.6%	39	21.3%	48	18.8%
東住吉区役所	76	16.9%	31	16.9%	44	17.3%
矢田出張所	9	2.0%	4	2.2%	5	2.0%
東住吉会館	11	2.4%	7	3.8%	3	1.2%
東住吉図書館	22	4.9%	11	6.0%	11	4.3%
郵便局	59	13.1%	29	15.8%	28	11.0%
東住吉スポーツセンター	15	3.3%	8	4.4%	6	2.4%
長居公園（公園内施設含む）	112	24.9%	48	26.2%	62	24.3%
地域の公園	47	10.5%	32	17.5%	15	5.9%
市営住宅	17	3.8%	8	4.4%	8	3.1%
勤務先	29	6.5%	16	8.7%	13	5.1%
大学・専門学校	24	5.3%	10	5.5%	11	4.3%
病院	81	18.0%	33	18.0%	48	18.8%
その他	34	7.6%	19	10.4%	13	5.1%



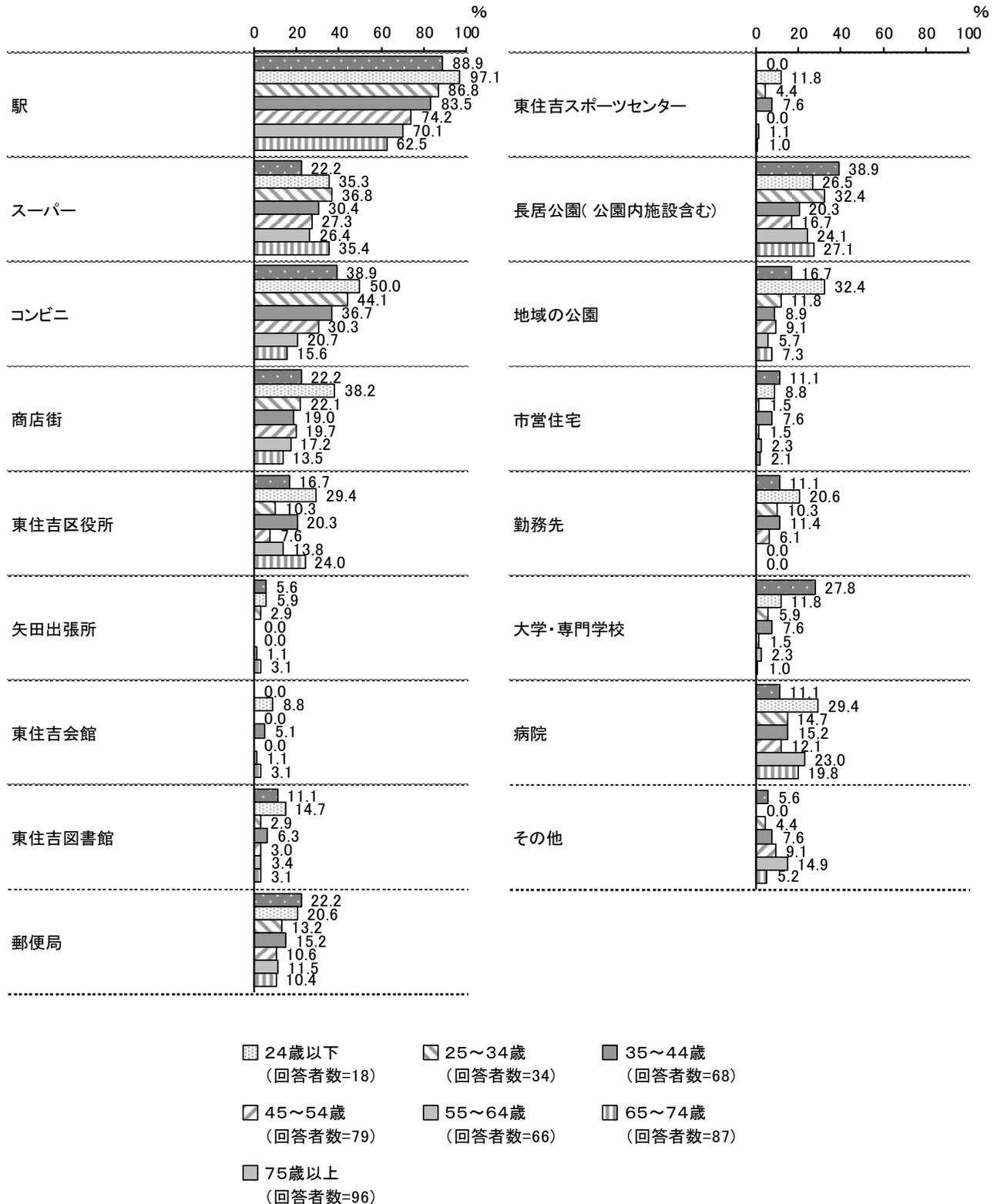
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「駅」、「スーパー」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「コンビニ」「郵便局」「地域の公園」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるほど「駅」「コンビニ」「商店街」「郵便局」「長居公園(公園内施設含む)」「地域の公園」「市営住宅」「勤務先」「大学・専門学校」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、35～44歳で「東住吉区役所」「東住吉会館」「東住吉図書館」「東住吉スポーツセンター」「勤務先」「病院」の割合が高くなっています。



【問 28 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
<ul style="list-style-type: none">・家の近くにあれば利用したい。・バス停、主要な交差点。